

---

# 「令和6年度大仙市男女共同参画に関するアンケート調査」

## 調査報告書

---

令和7年3月

大仙市 企画部 総合政策課

## 目次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 実施概要と回収状況	1
3 表記について	1
II 回答者の属性	2
III 調査結果	6
1 男女共同参画に関する意識について	6
2 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について	12
3 職場環境と女性の活躍推進について	18
4 DV(ドメスティック・バイオレンス)やハラスメントについて	22
5 性の多様性について	30
6 男女共同参画施策への要望等について	31
IV 自由意見	32
資料(調査票)	39
「令和6年度大仙市男女共同参画に関するアンケート調査」調査票	40

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

男女共同参画や女性活躍の推進について、市民の意識や実態、ニーズ等の現状を把握し、「第4次大仙市男女共同参画プラン」を策定するための基礎資料として活用するとともに、今後の施策や事業の見直しの参考とするため実施したものです。

## 2 実施概要と回収状況

調査対象	満18歳以上の市民の中から無作為に抽出した1,000人
調査方法	郵送による調査票の配布、郵送回答またはインターネット回答
調査期間	令和6年8月5日(月)～8月31日(土)
回答数	359件(回答率 35.9%) ※郵送回答 285件、インターネット回答74件

## 3 表記について

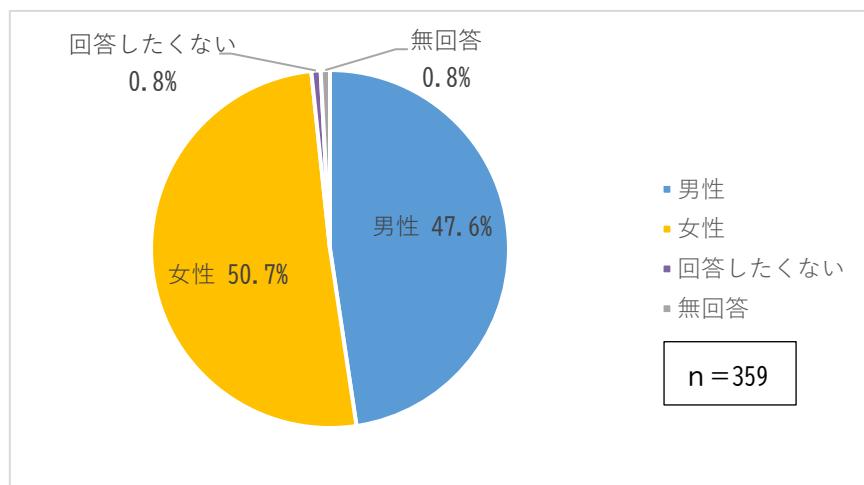
- 回答者の属性においては無回答を含めた回答者数を「n」とし、その他の設問においては、有効回答内での割合を求めるため、無回答者を除いた有効回答者数を「n」として表記しています。そのため、設問により母数となる「n」が異なる場合があります。
- 集計は小数点第2位以下を四捨五入しているため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- 調査票の設問文や選択肢を省略して表記していることがあります。詳細は「資料(調査票)」をご覧ください。

## II 回答者の属性

### ■性別

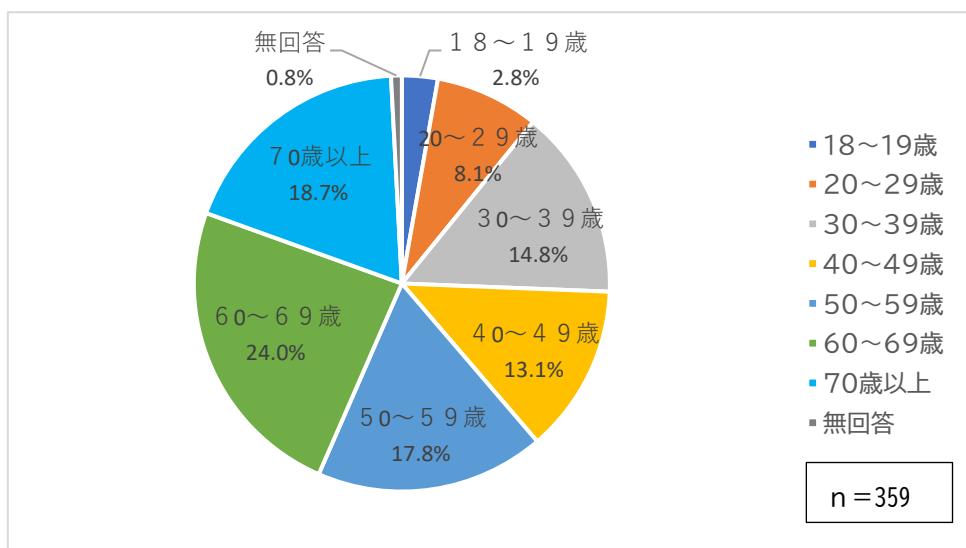
性別は、「男性」が47.6%、「女性」が50.7%で、女性の回答が男性よりも3.1ポイント上回っています。また、「回答したくない」と「無回答」がそれぞれ0.8%となっています。

以降の設問において、性別で比較する場合には、「回答したくない」と「無回答」を合わせて「その他」とし、「男性」「女性」「その他」の3つの属性で比較します。



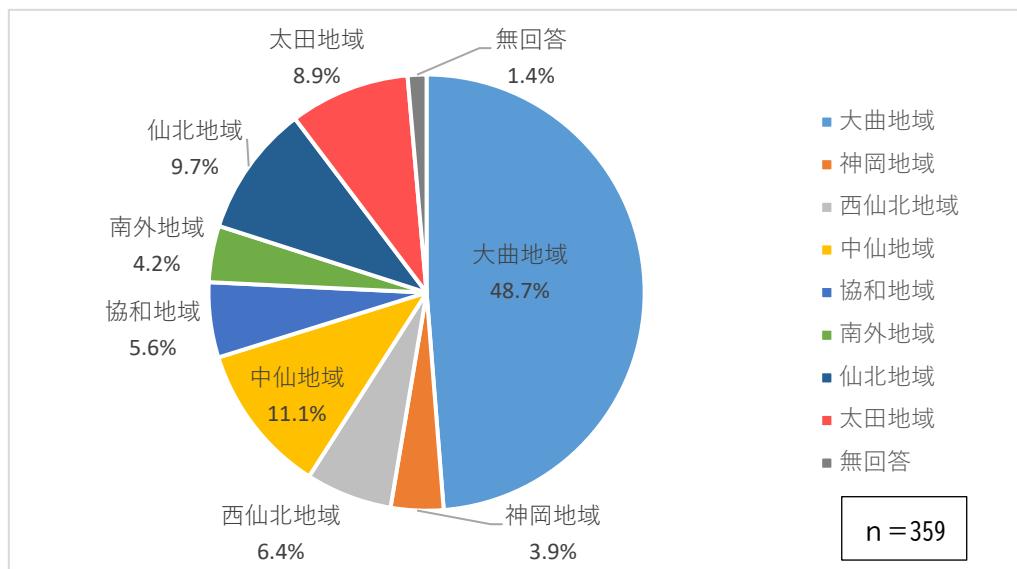
### ■年齢

年齢は、「60～69歳」が24.0%と最も高く、次いで「70歳以上」が18.7%、「50～59歳」が17.8%の順となっており、50代以上が全体の半数以上を占めています。



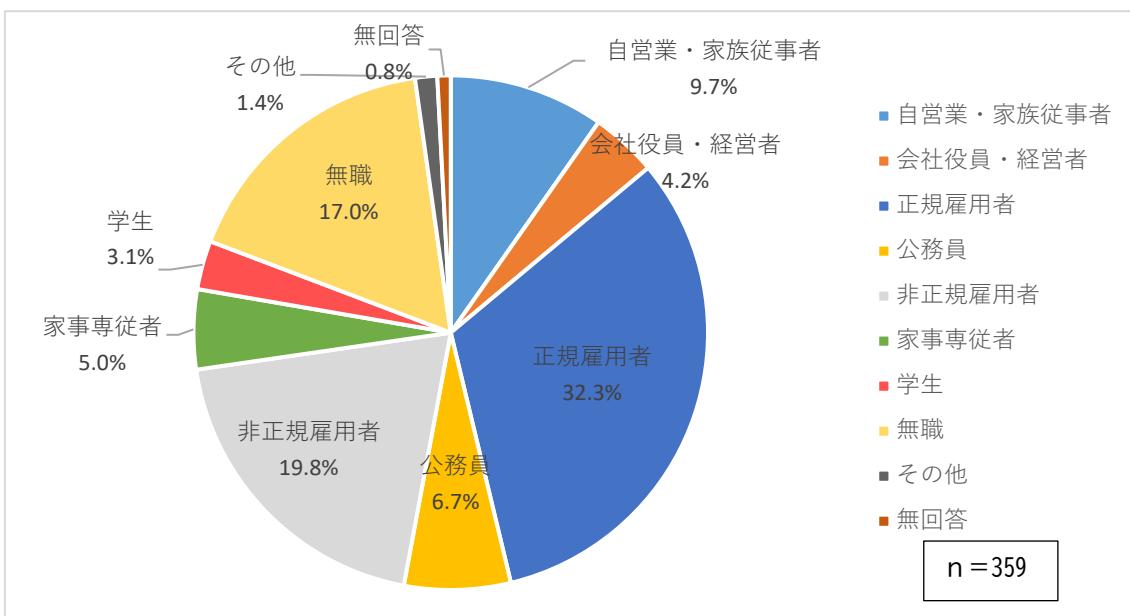
## ■地域

「大曲地域」が48.7%と5割近くを占めており、次いで「中仙地域」が11.1%、「仙北地域」が9.7%、「太田地域」が8.9%の順となっています。



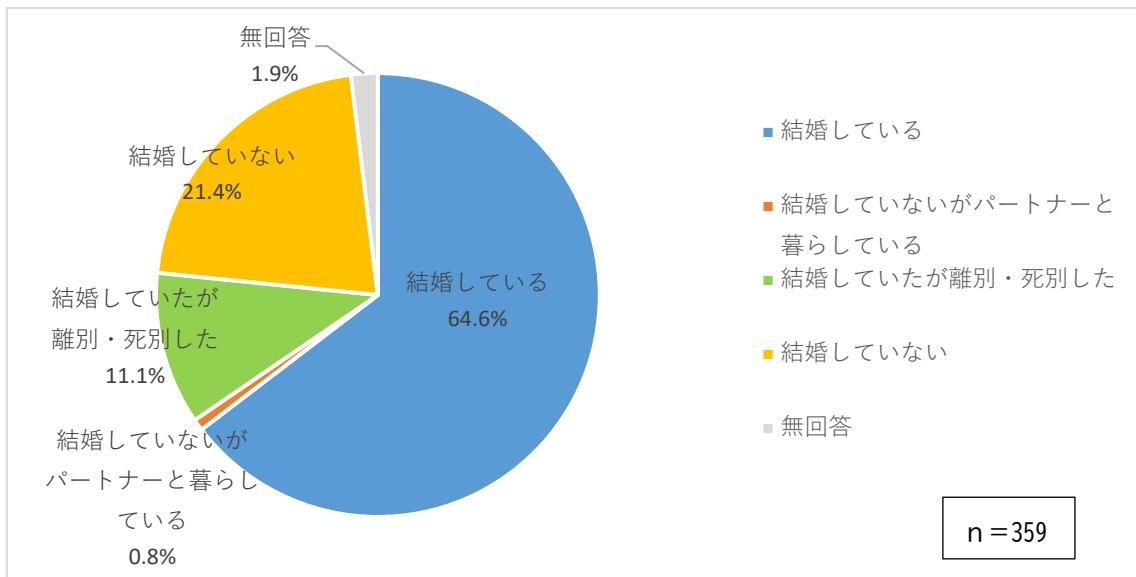
## ■職業

「正規雇用者」が32.3%、次いで「非正規雇用者」が19.8%、「無職」が17.0%、「自営業・家族従事者」が9.7%、「公務員」が6.7%、「家事専従者」が5.0%の順となっています。また、有職者の合計は全体の7割以上を占めています。



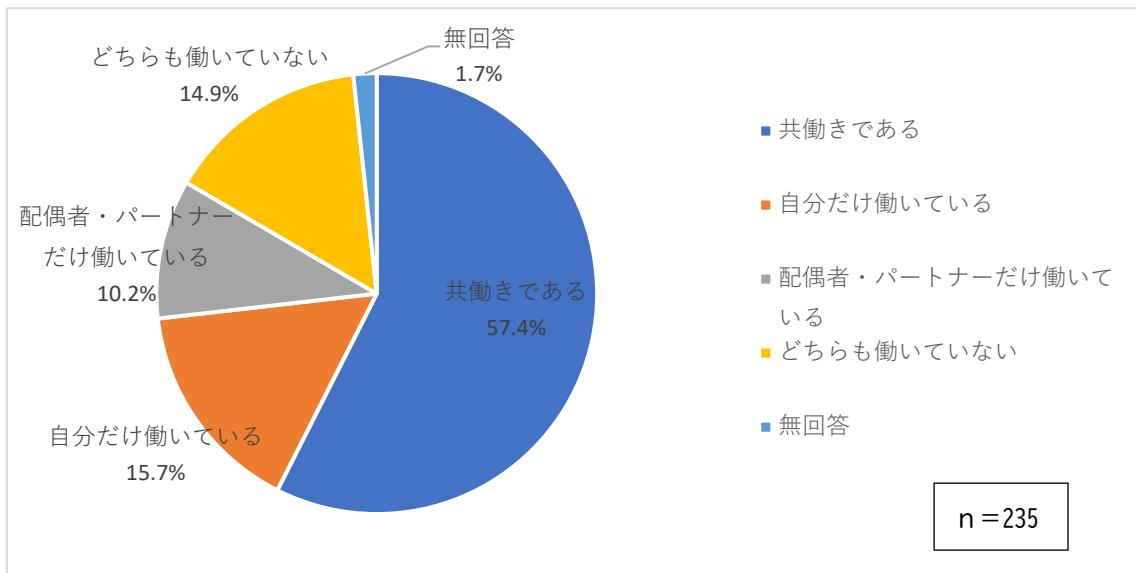
## ■結婚の有無

「結婚している」が 64.6%で最も高く、次いで「結婚していない」が 21.4%、「結婚していたが離別・死別した」が 11.1%の順となっています。



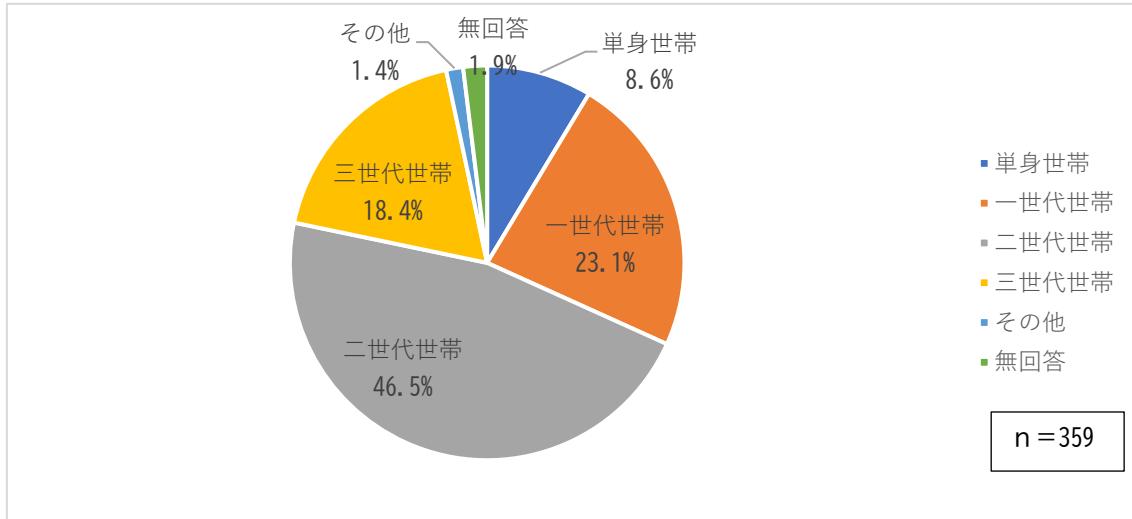
## ■共働きをしているか【結婚している方・結婚していないがパートナーと暮らしている方】

配偶者またはパートナーがいる方の57.4%が「共働きである」と回答しており、次いで「自分で働いている」が 15.7%、「どちらも働いていない」が 14.9%の順となっています。



## ■世帯構成

「二世代世帯」が46.5%で最も高く、次いで「一世代世帯」が 23.1%、「三世代世帯」が 18.4%、「単身世帯」が8.6%の順となっています。

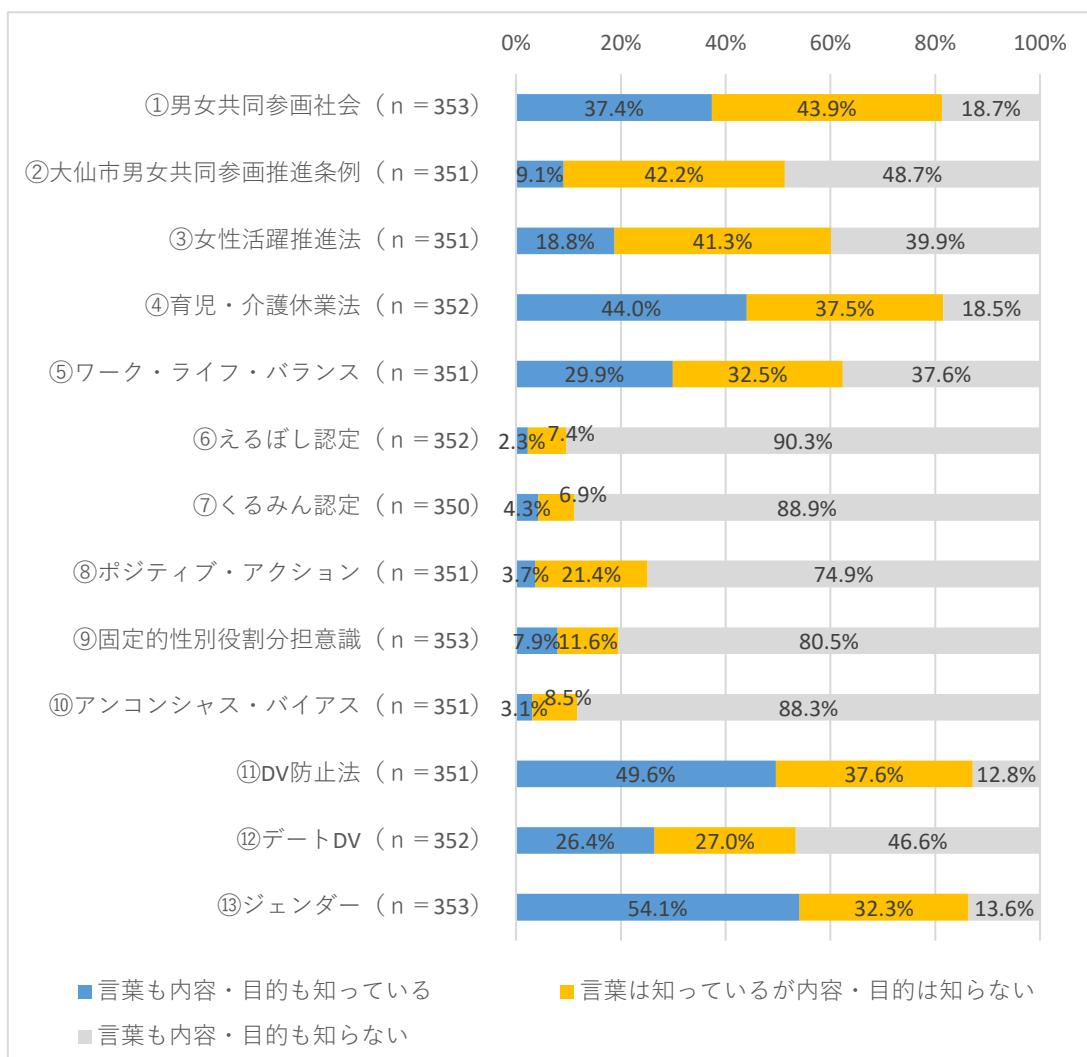


### III 調査結果

#### 1 男女共同参画に関する意識について

問1 あなたは男女共同参画に関する次の言葉や内容(または目的)を知っていますか。(各項目ごとに○は1つ)

「言葉も内容・目的も知っている」「言葉は知っているが内容・目的は知らない」を合わせた割合が最も高いのは、『DV防止法』で87.2%となっており、『ジェンダー』『育児・介護休業法』『男女共同参画社会』が続き、それぞれ8割を超えてます。一方、最も認知度が低い『えるぼし認定』は9割以上の方が「言葉も内容・目的も知らない」と回答しています。

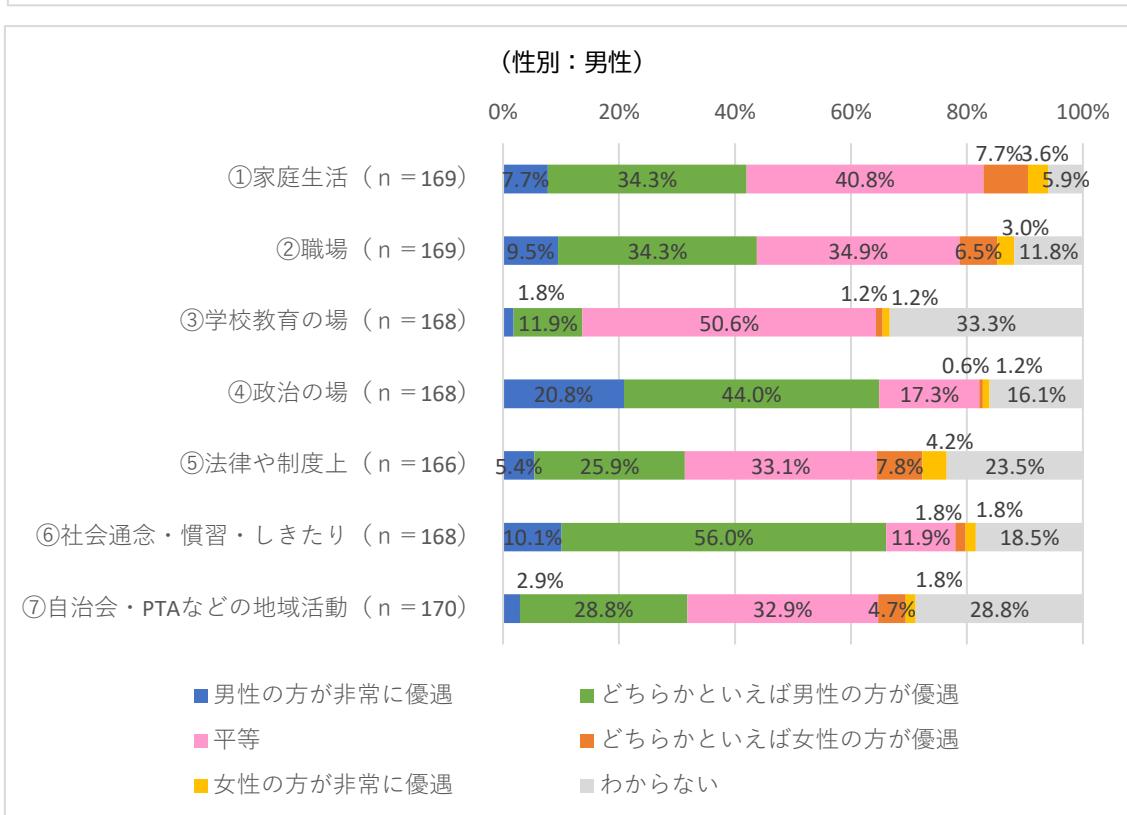
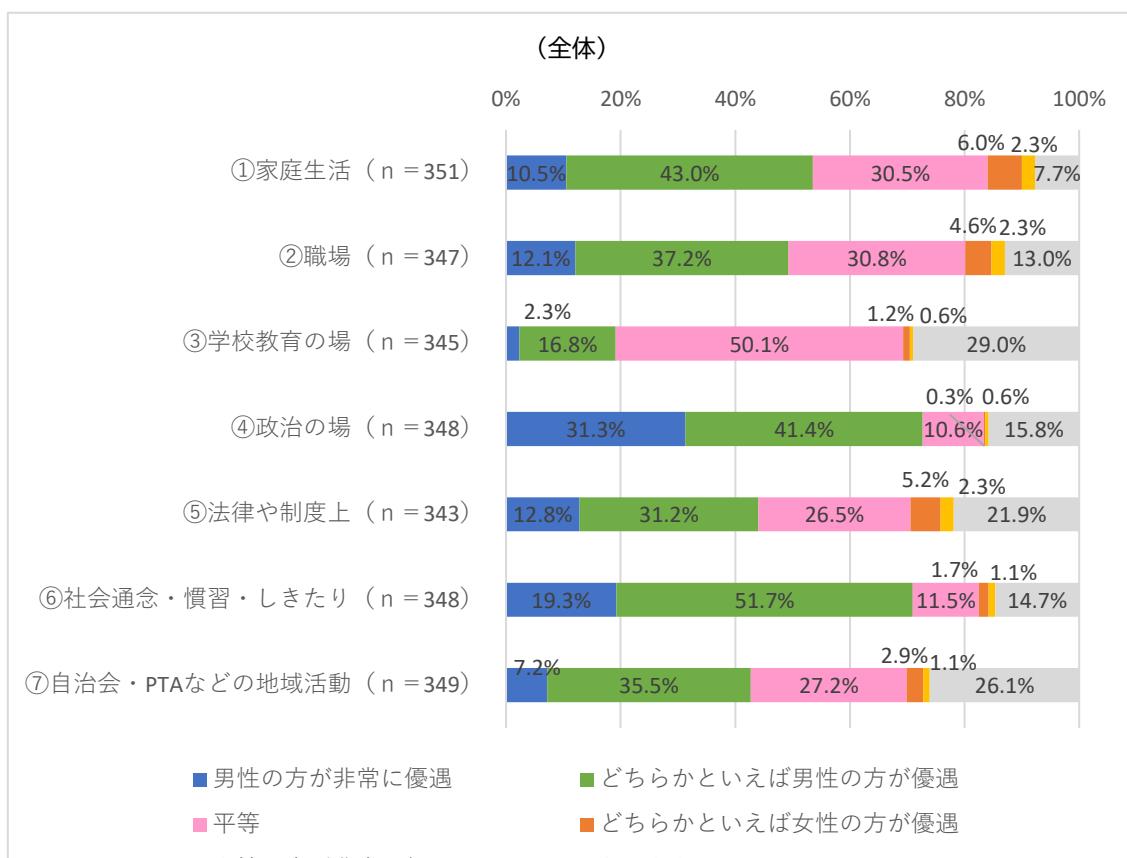


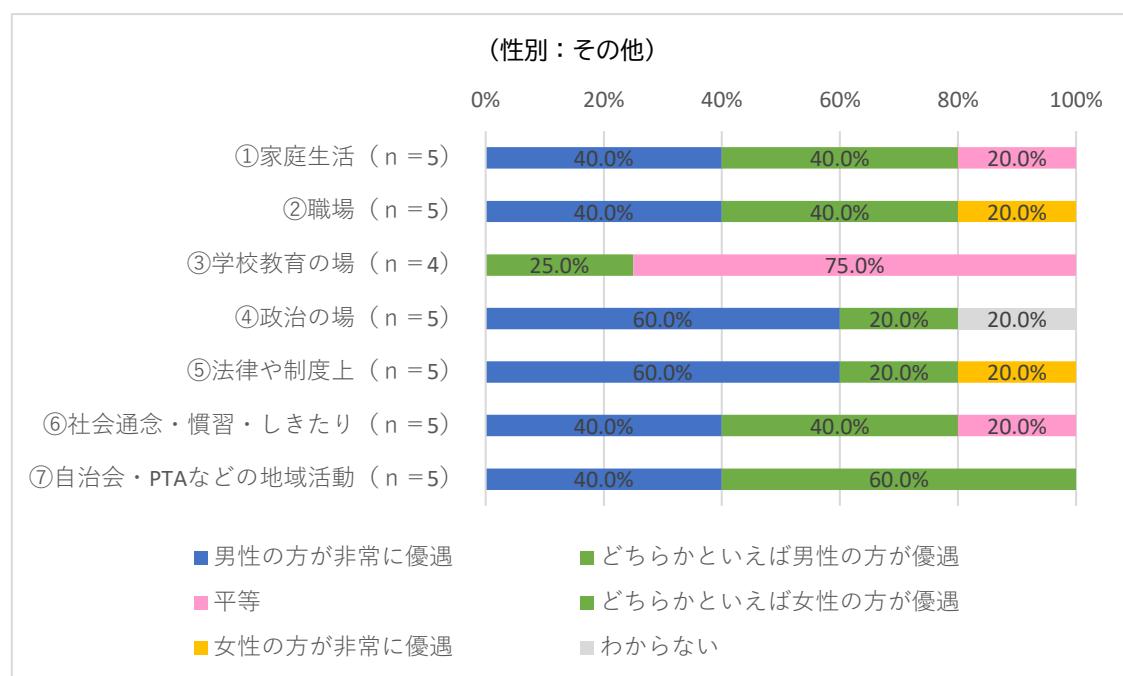
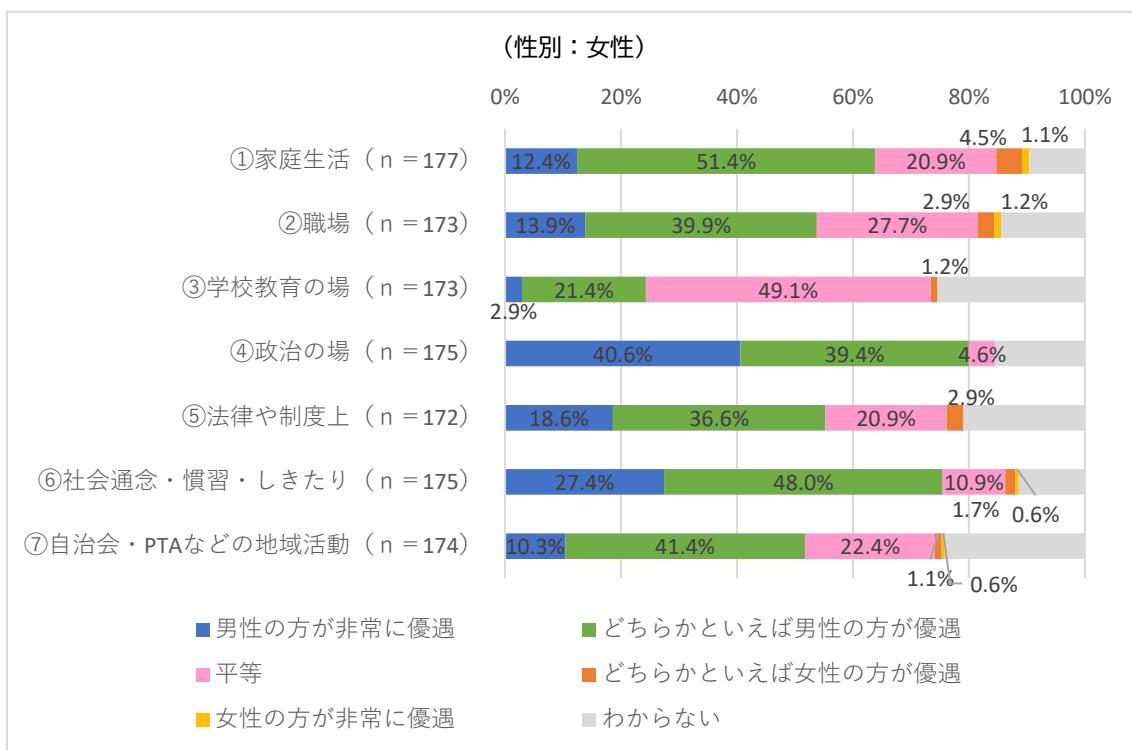
---

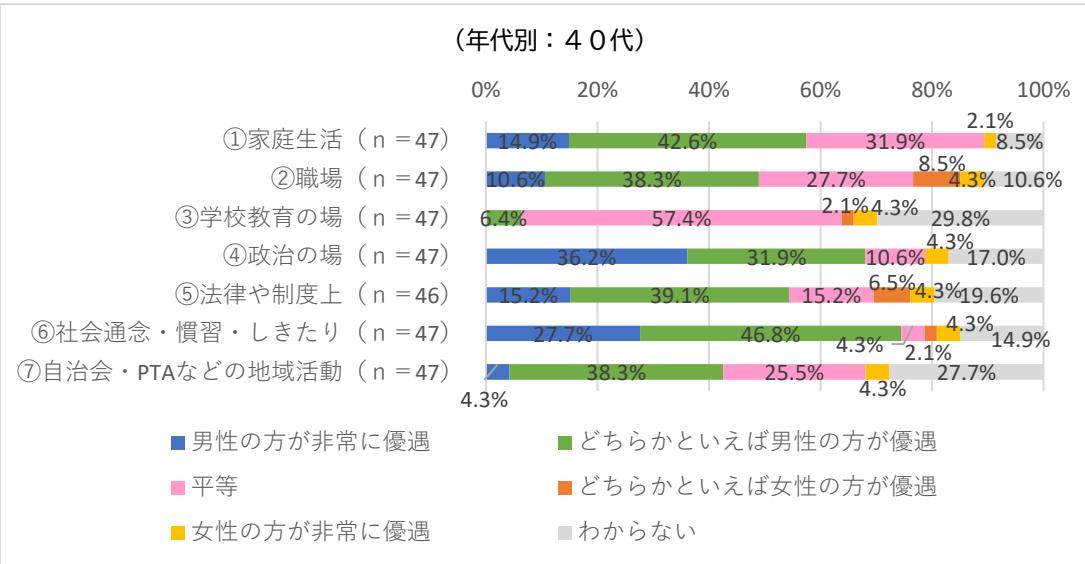
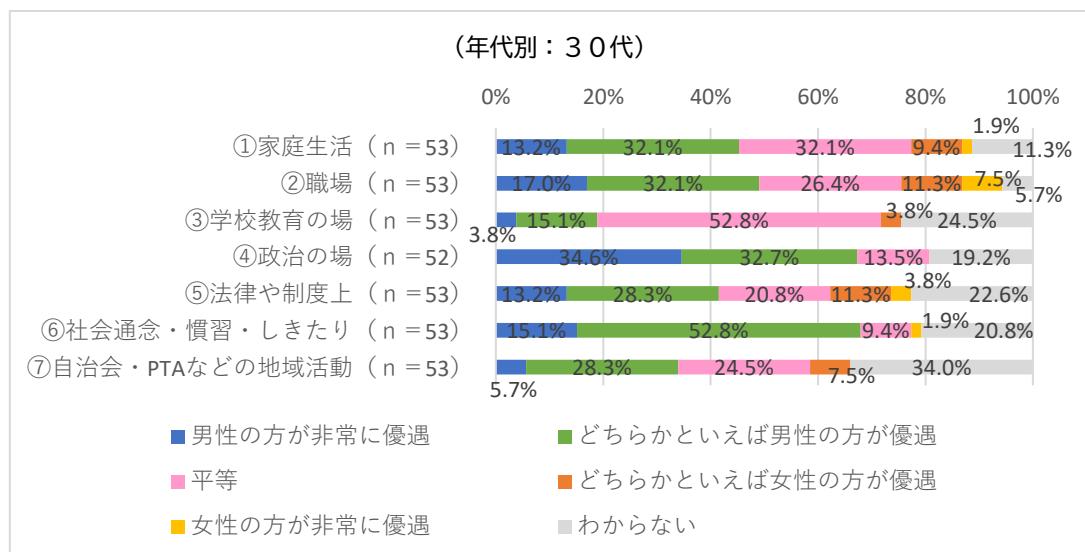
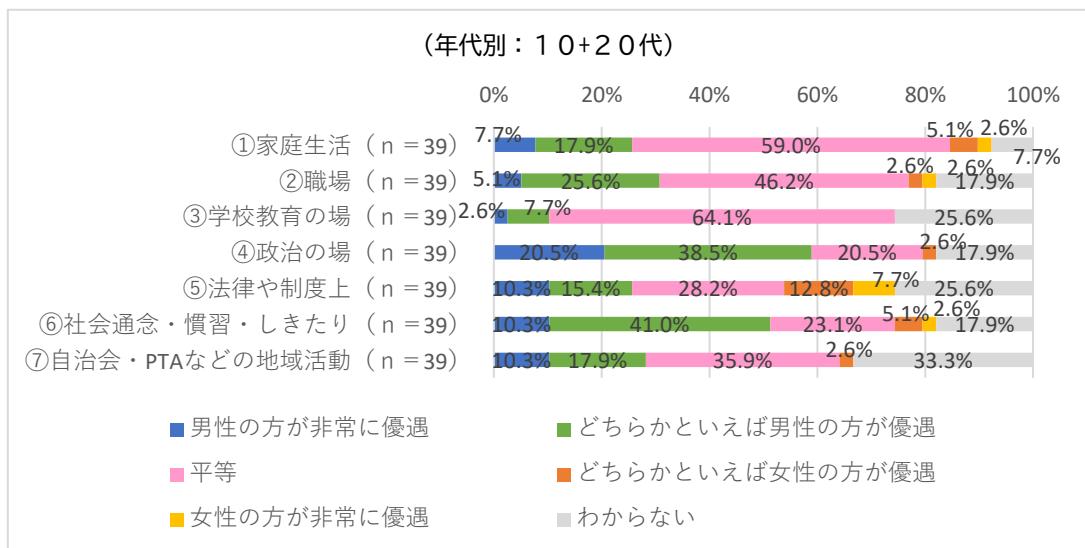
問2 あなたは次にあげる分野で男女は平等になっていると思いますか。(各項目ごとに○は1つ)

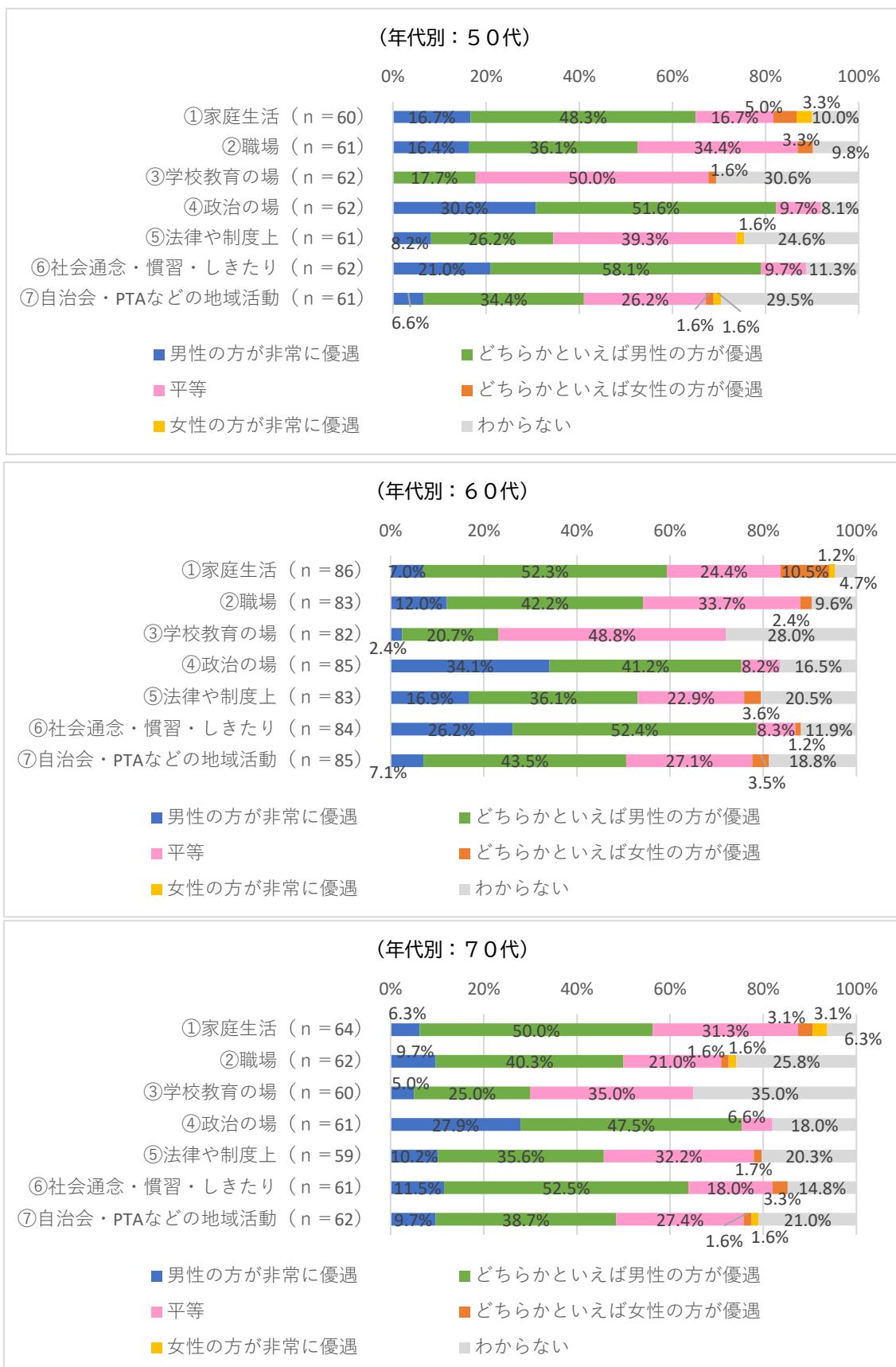
---

- 全体では、「男性の方が非常に優遇」(以下「男性」と「どちらかといえば男性の方が優遇」(以下「どちらかといえば男性」)を合わせた割合が、「女性の方が非常に優遇」(以下「女性」と「どちらかといえば女性の方が優遇」(以下「どちらかといえば女性」)を合わせた割合を全ての分野で上回っており、「男性」「どちらかといえば男性」を合わせた割合が最も高いのは『政治の場』で72.7%となっています。一方で、「女性」「どちらかといえば女性」を合わせた割合は全ての分野で低い傾向にあり、最も高い『家庭生活』でも8.3%となっています。  
また、「平等」が最も高いのは、『学校教育の場』で50.1%となっており、次いで『職場』が30.8%、『家庭生活』が30.5%の順となっています。
- 性別でみると、「男性」「どちらかといえば男性」を合わせた割合が最も高いのは、男性では『社会通念・慣習・しきたり』で66.1%、次いで『政治の場』で64.8%となっています。一方で、女性では『政治の場』が最も高く80.0%、次いで『社会通念・慣習・しきたり』で75.4%といずれも女性の割合の方が高く、とくに『政治の場』では男女で15.2ポイントの差が生じています。  
「女性」「どちらかといえば女性」を合わせた割合が最も高いのは、男女ともに『家庭生活』で、男性で11.3%、女性で5.6%となっています。また、「平等」が最も高いのは、男女ともに『学校教育の場』で、男性で50.6%、女性で49.1%と、ほぼ同じ割合となっています。
- 年齢別でみると、全ての年代において、「男性」「どちらかといえば男性」を合わせた割合が最も高いのは『政治の場』で、50代が82.2%と最も高くなっています。  
また、「平等」が最も高いのは、全ての年代で『学校教育の場』となっており、最も割合が高い年代は10代と20代を合わせた年代で64.1%、最も割合が低い年代は70代以上で35.0%となっています。





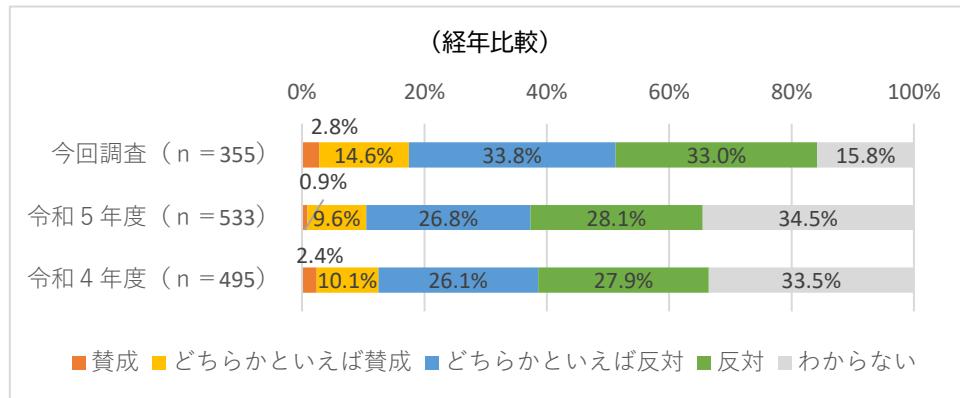
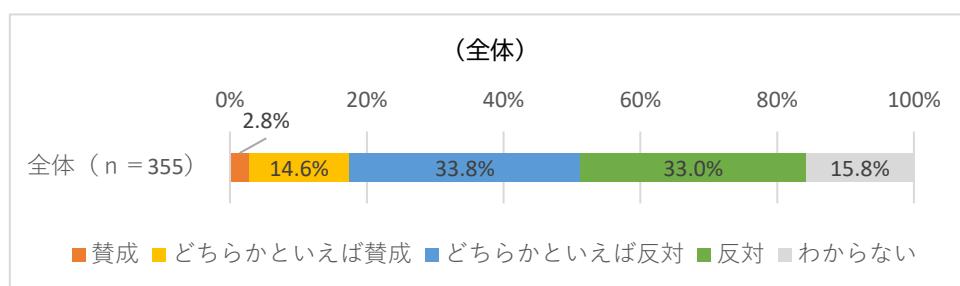


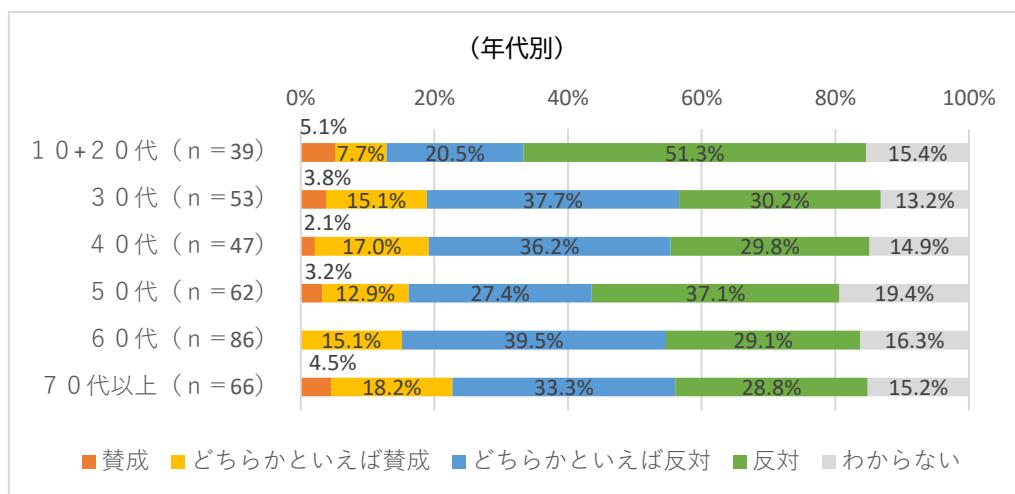
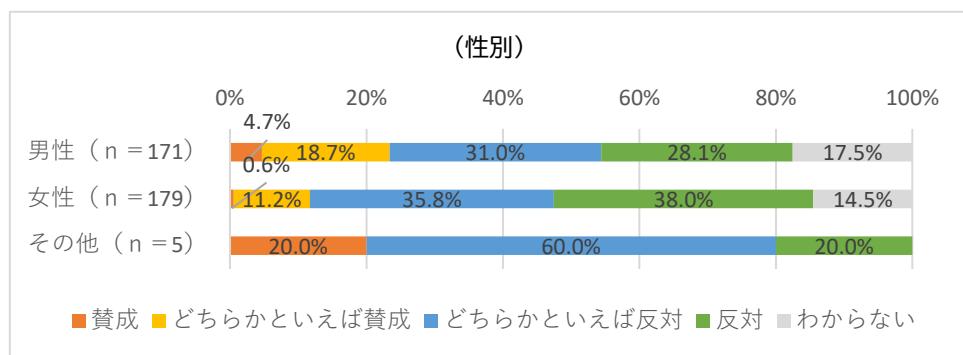


## 2 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について

### 問3 「男性は仕事、女性は家庭」というような、性別によって役割を固定する考え方について、どう思いますか。(○は1つ)

- 全体では、「反対」「どちらかといえば反対」を合わせた割合は66.8%となっており、前回調査(令和5年度)と比較すると11.9ポイント高くなっています。
- 性別でみると、「反対」「どちらかといえば反対」を合わせた割合は、男性が59.1%、女性が73.8%で、女性が14.7ポイント高くなっています。特に、明確に「反対」と回答している割合は9.9ポイントの差が生じています。
- 年代別でみると、全年代で、「反対」「どちらかといえば反対」を合わせた割合が、「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせた割合を上回っており、その差が最も大きいのは、10代と20代を合わせた年代で59.0ポイントとなっています。また、10代と20代を合わせた年代では、「反対」と回答した割合が全年代の中で最も高く、5割を上回っています。一方で、「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせた割合は、最も高い70代以上で2割を上回っており、最も低い10代と20代を合わせた年代と9.9ポイントの差が生じています。

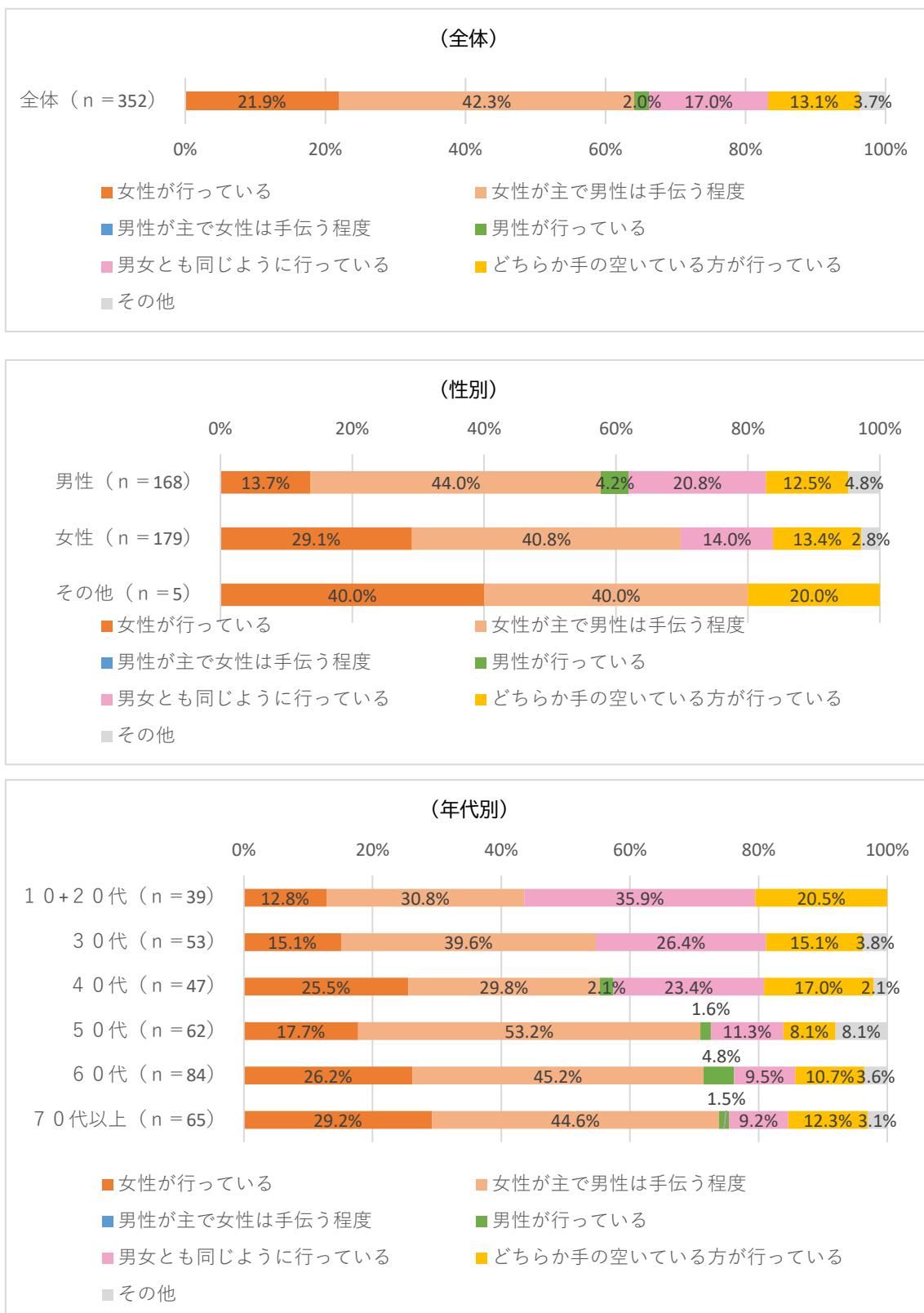




#### 問4 あなたの家庭では、家事や育児、介護等をどのように分担していますか。 (○は1つ)

- 全体では、「女性が主で男性は手伝う程度」(以下「主に女性」)が42.3%で最も高く、次いで「女性が行っている」(以下「女性」)が21.9%となっており、6割以上の方が「女性」または「主に女性」と回答しています。また、「男女とも同じように行っている」(以下「男女同じ」)が17.0%、「どちらか手の空いている方が行っている」(以下「手の空いている方」)が13.1%となっており、約3割の方が性別にかかわらず役割分担していると回答しています。一方で、「男性が行っている」(以下「男性」)は2.0%で最も低くなっています。
- 性別でみると、男女ともに「主に女性」が最も高く、男性44.0%、女性40.8%で男性が3.2ポイント高くなっています。また、「男女同じ」「手の空いている方」を合わせた割合は、男性33.3%、女性27.4%で男性が5.9ポイント高くなっています。
- 年代別でみると、10代と20代を合わせた年代では「男女同じ」が最も高く、30代以上の年代では全て「主に女性」が最も高くなっています。また、「男女同じ」「手の空いている方」を合わせた割合は、40代以下で4割を上回っており、10代と20代を合わせた年代が

56.4%で最も高く、全ての年代の中で唯一「女性」「主に女性」を合わせた割合を上回っています。

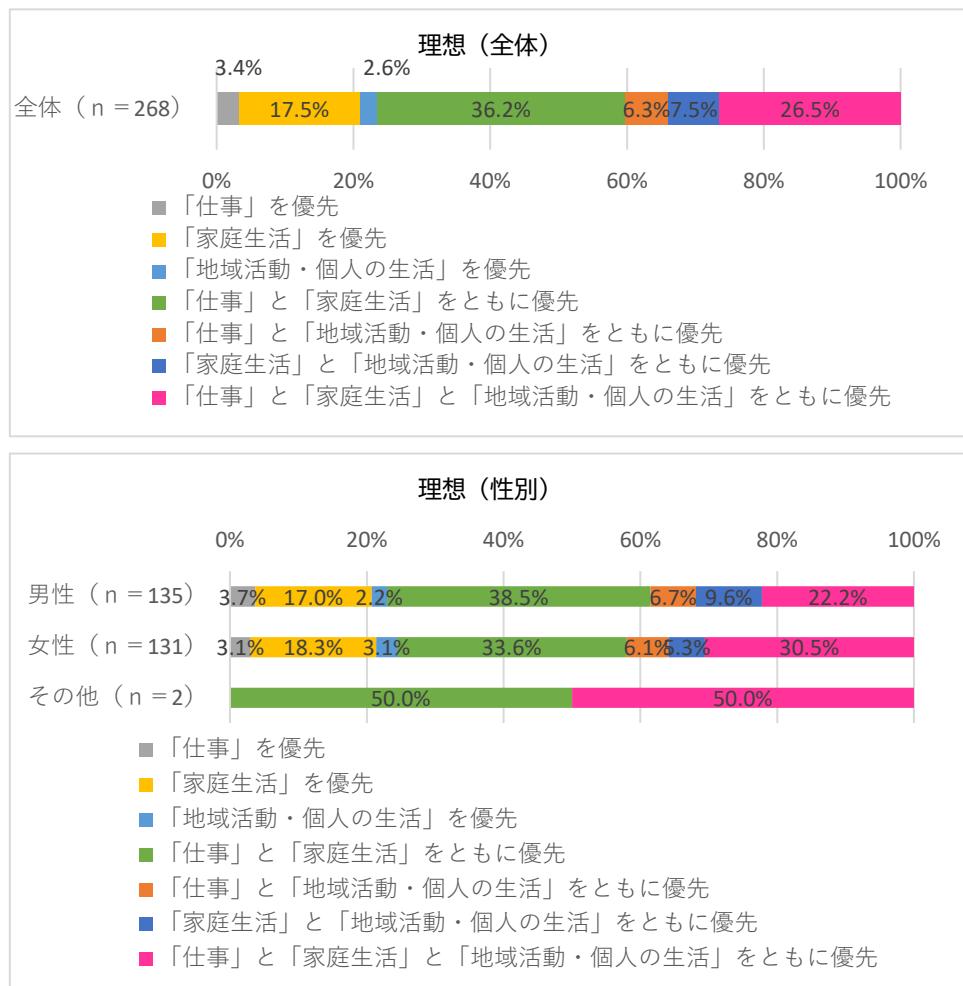


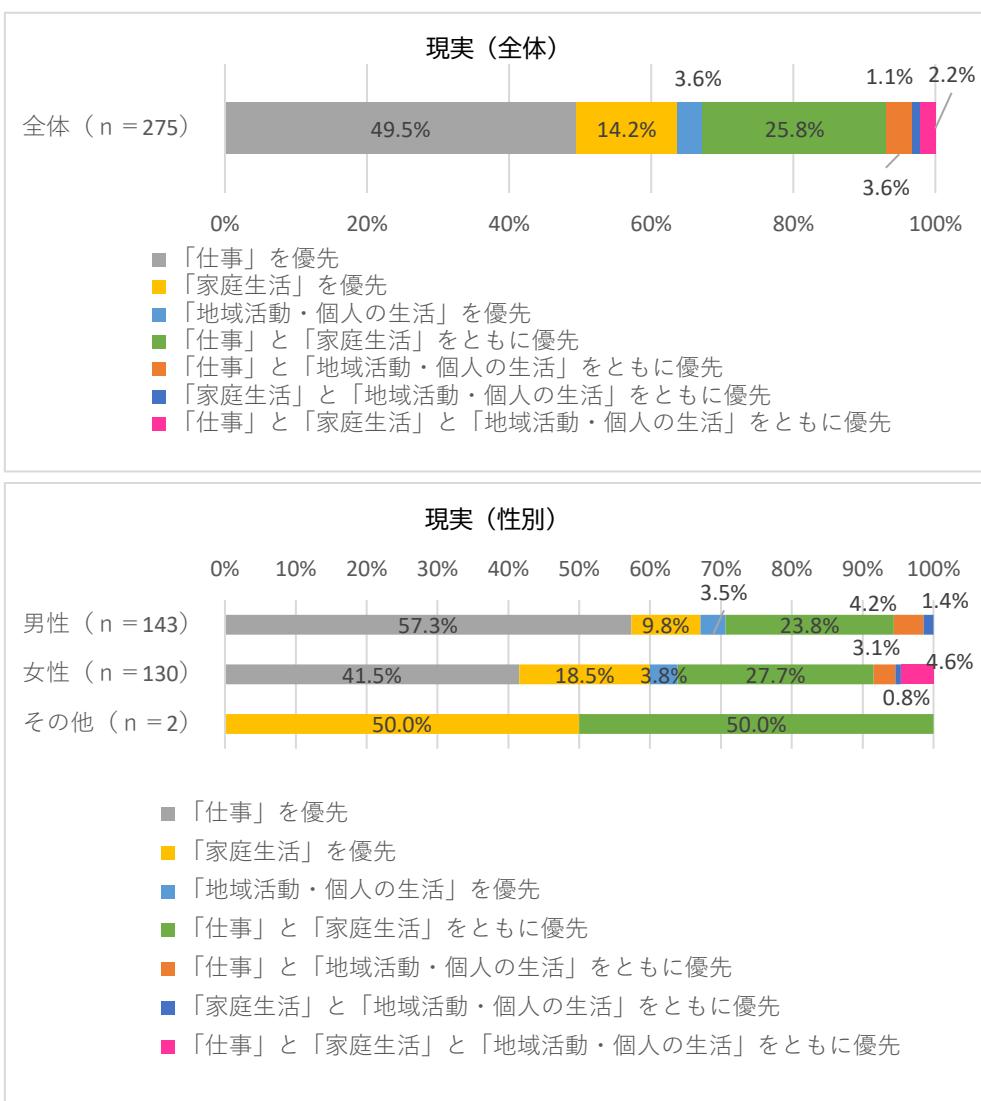
問5 ①「仕事」、②「家庭生活(家事・育児・介護等)」、③「地域活動・個人の生活(学習・趣味・ボランティア・自治会・付き合い等)」の優先度について、あなたの理想と現実(現状)に最も近いものはどれですか。(各項目ごとに○は一つ)

○ 全体でみると、『理想』では、「『仕事』と『家庭生活』をともに優先」が36.2%で最も高く、次いで「『仕事』と『家庭生活』と『地域活動・個人の生活』をともに優先」で26.5%となっています。

一方『現実』では、「『仕事』を優先」が49.5%で最も高くなっています。『理想』の「『仕事』を優先」3.4%と大きな差が生じています。『現実』での「『仕事』と『家庭生活』をともに優先」は25.8%で『理想』よりも10.4ポイント低く、「『仕事』と『家庭生活』と『地域活動・個人の生活』をともに優先」は2.2%で『理想』よりも24.3ポイント低くなっています。

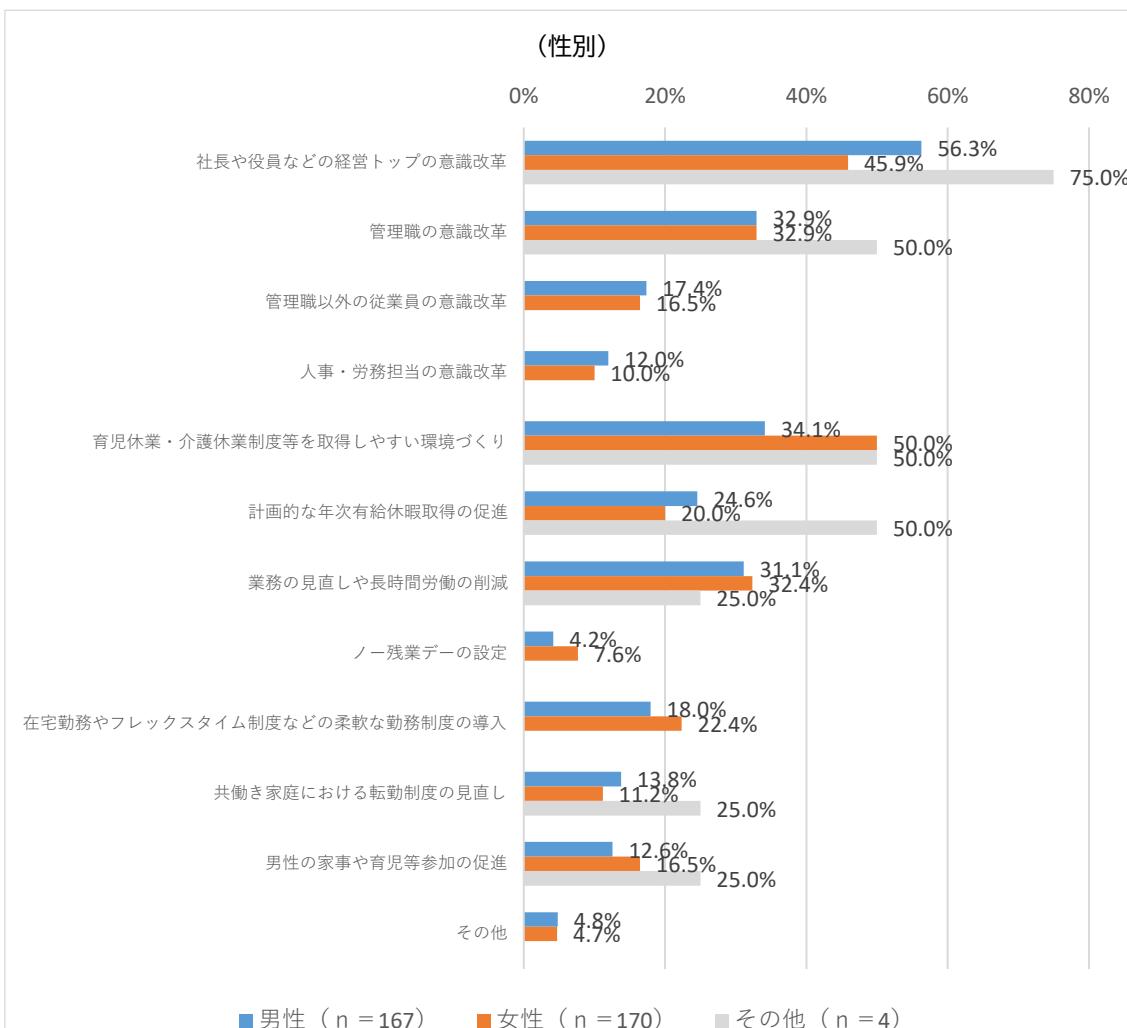
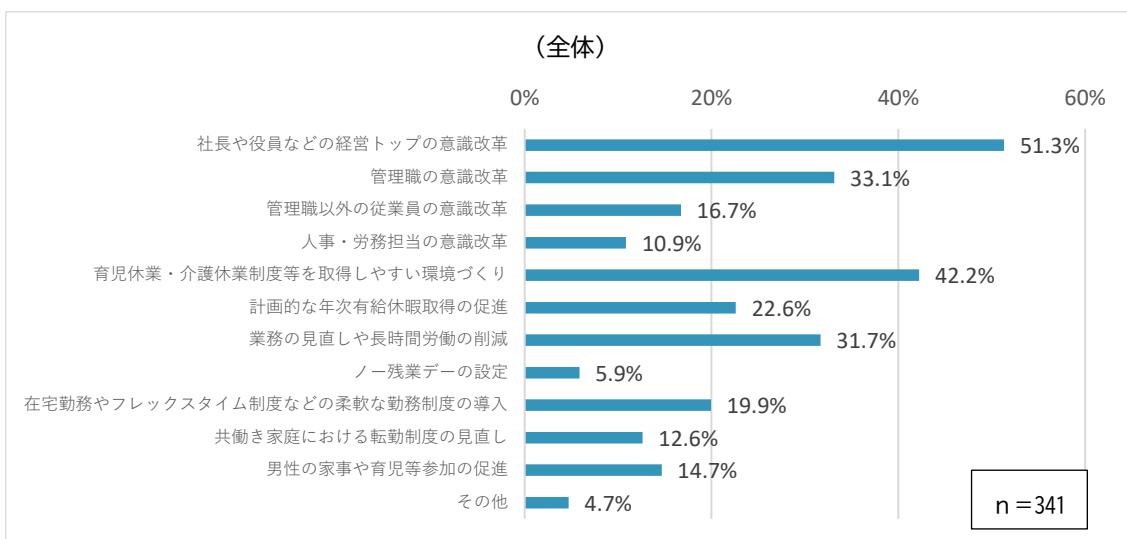
○ 性別でみると、『理想』では、各項目において男女の割合に大きな差はありませんが、『現実』では、「『仕事』を優先」は男性の方が15.8ポイント高く、「『家庭生活』を優先」は女性の方が8.7ポイント高くなっています。





## 問6 働くすべての人が仕事と家庭を両立していくために、企業等にはどのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

- 全体では、「社長や役員などの経営トップの意識改革」が51.3%で最も高く、次いで「育児休業・介護休業制度等を取得しやすい環境づくり」が42.2%、「管理職の意識改革」が33.1%、「業務の見直しや長時間労働の削減」が31.7%の順となっています。
- 性別でみると、男女ともに、「社長や役員などの経営トップの意識改革」と「育児休業・介護休業制度等を取得しやすい環境づくり」の割合が高く、全体と同様の傾向となっていますが、男性では「社長や役員などの経営トップの意識改革」が56.3%で最も高くなっているのに対し、女性では「育児休業・介護休業制度等を取得しやすい環境づくり」が最も高く50.0%となっています。



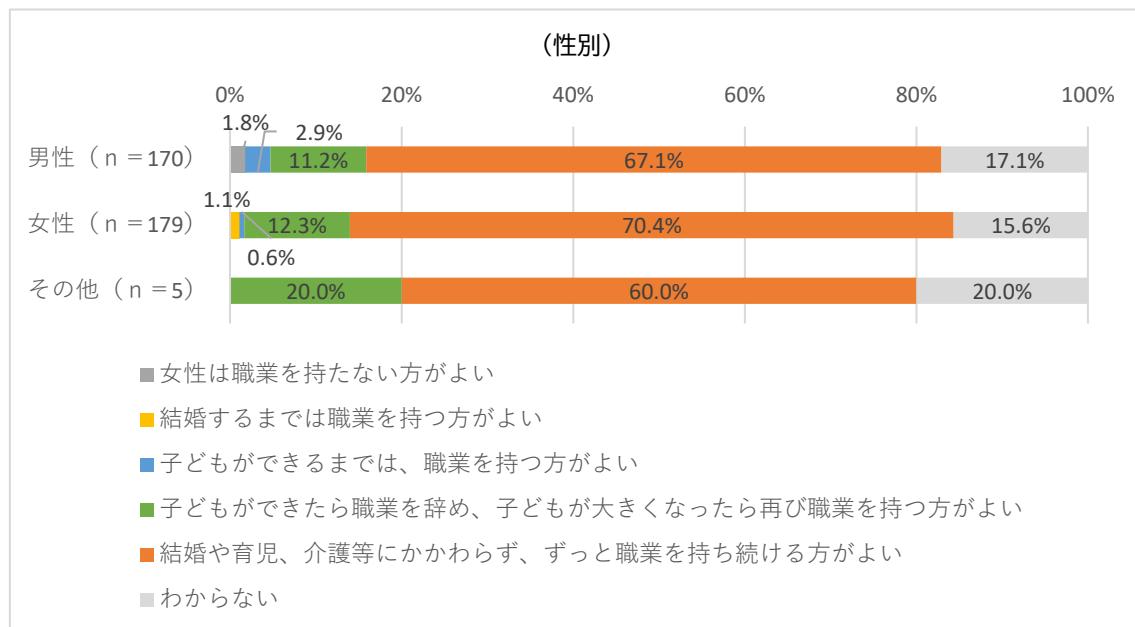
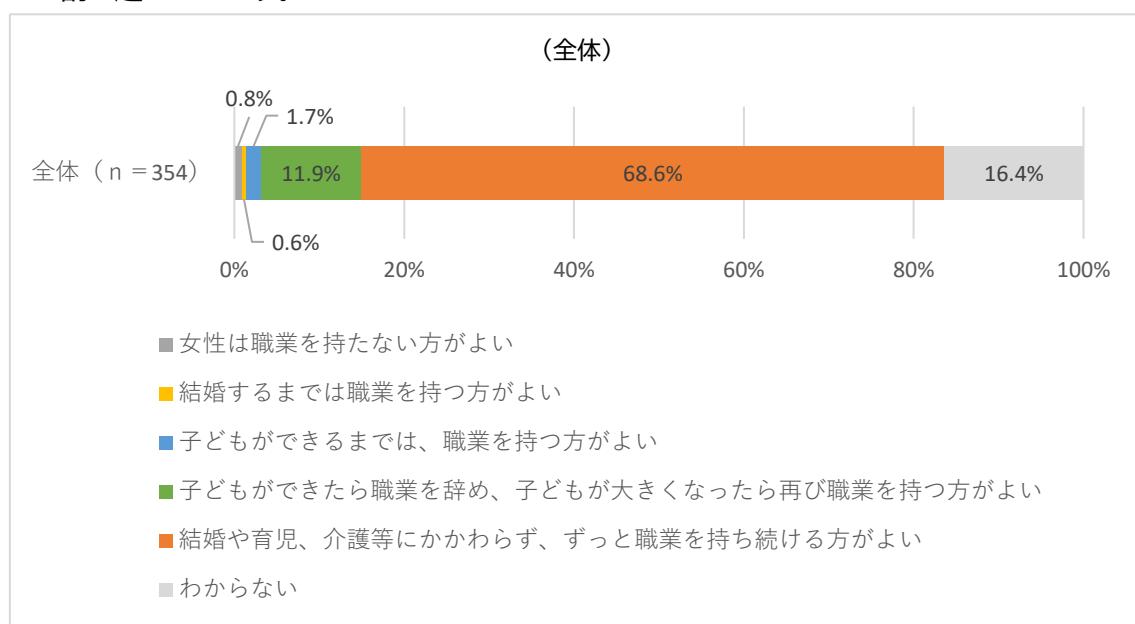
**【その他意見(主なもの)】**

- ・人材の確保
- ・賃金アップ
- ・子育て世帯への手当等の充実
- ・副業の容認

### 3 職場環境と女性の活躍推進について

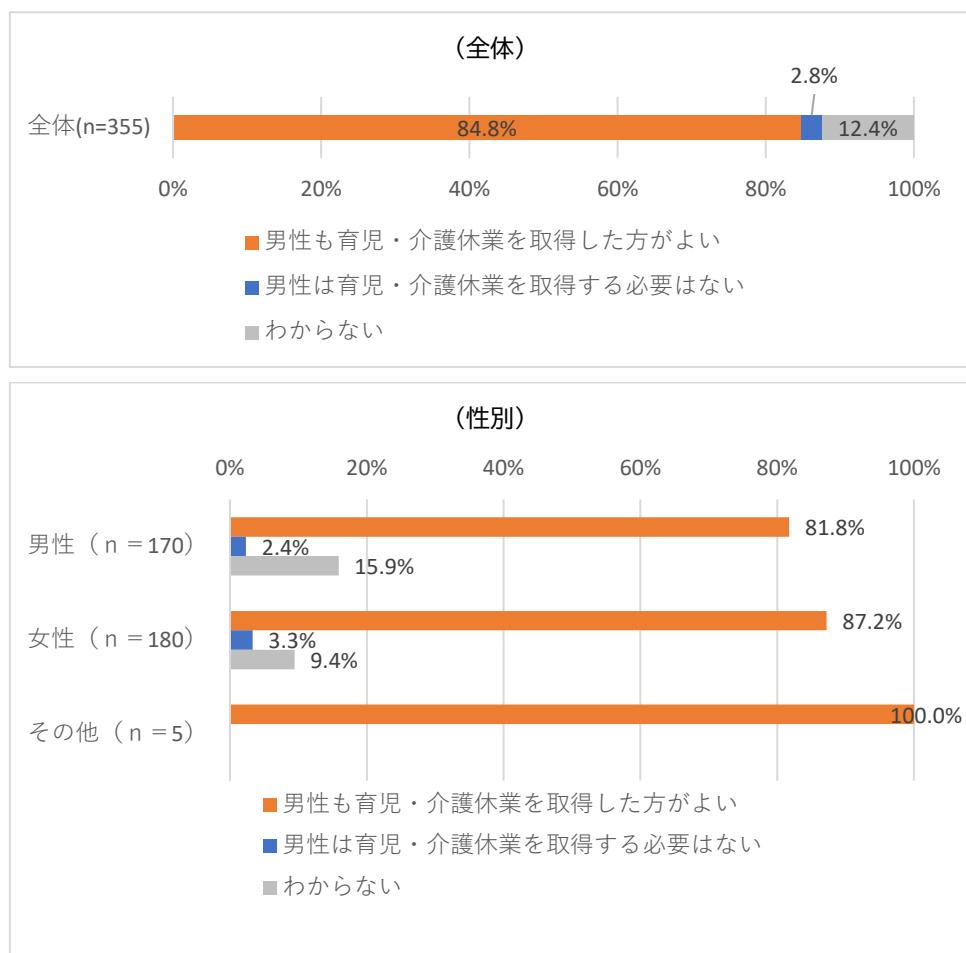
問7 一般的に女性が職業を持つことについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか(○は1つ)

- 全体では、「結婚や育児、介護等にかかわらず、ずっと職業を持ち続ける方がよい」が68.6%で最も高くなっています。
- 性別でみても「結婚や育児、介護等にかかわらず、ずっと職業を持ち続ける方がよい」が男女ともに最も高くなっていますが、女性の割合の方が男性の割合よりも3.3ポイント高く、7割を超えていました。



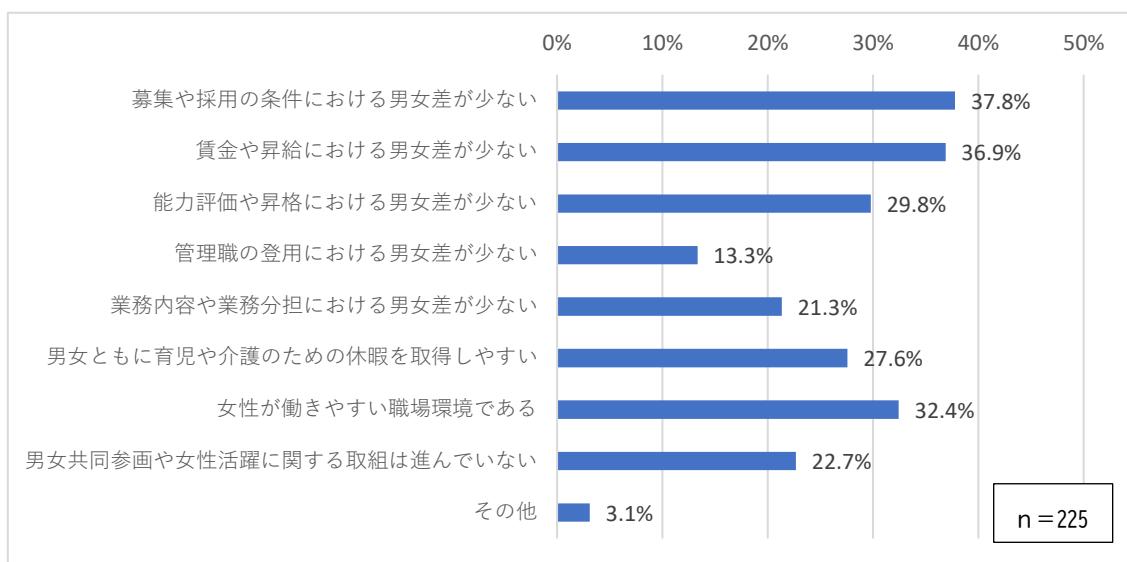
**問8 男性も育児・介護休業を取得することができますが、このことについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか(○は1つ)**

- 全体では、「男性も育児・介護休業を取得した方がよい」が84.8%で最も高くなっています。
- 性別でみても「男性も育児・介護休業を取得した方がよい」が最も高く、男女ともに8割を超えていましたが、女性の割合の方が男性の割合よりも5.4ポイント高くなっています。



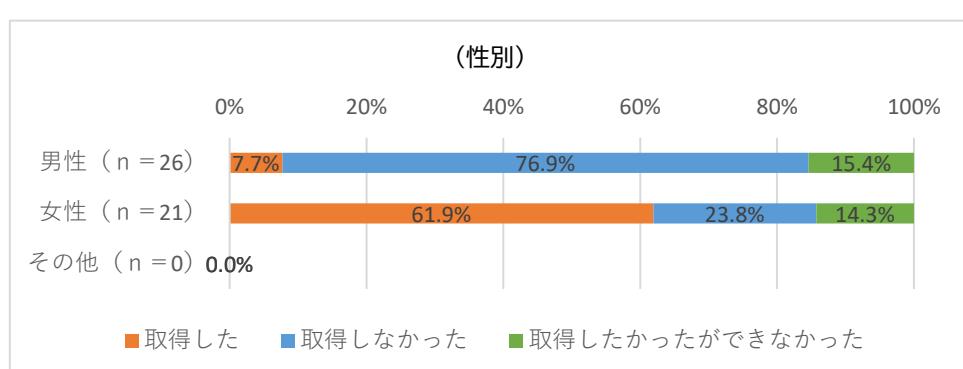
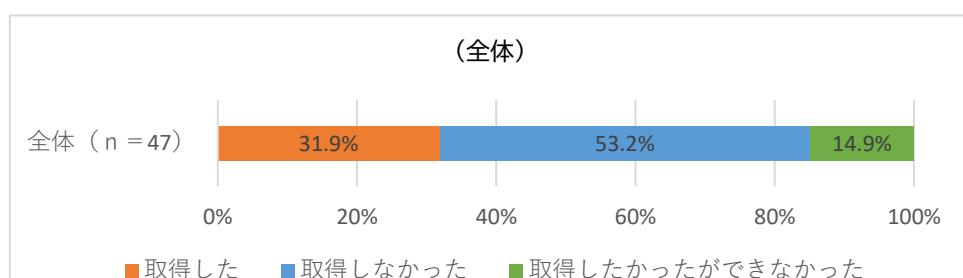
**問9 【現在、会社等に勤務されている方へ】あなたの職場における男女共同参画や女性活躍に関する状況について教えてください。(○はいくつでも)**

「募集や採用の条件における男女差が少ない」が37.8%で最も高く、次いで「賃金や昇給における男女差が少ない」が36.9%、「女性が働きやすい職場環境である」が32.4%の順となっています。



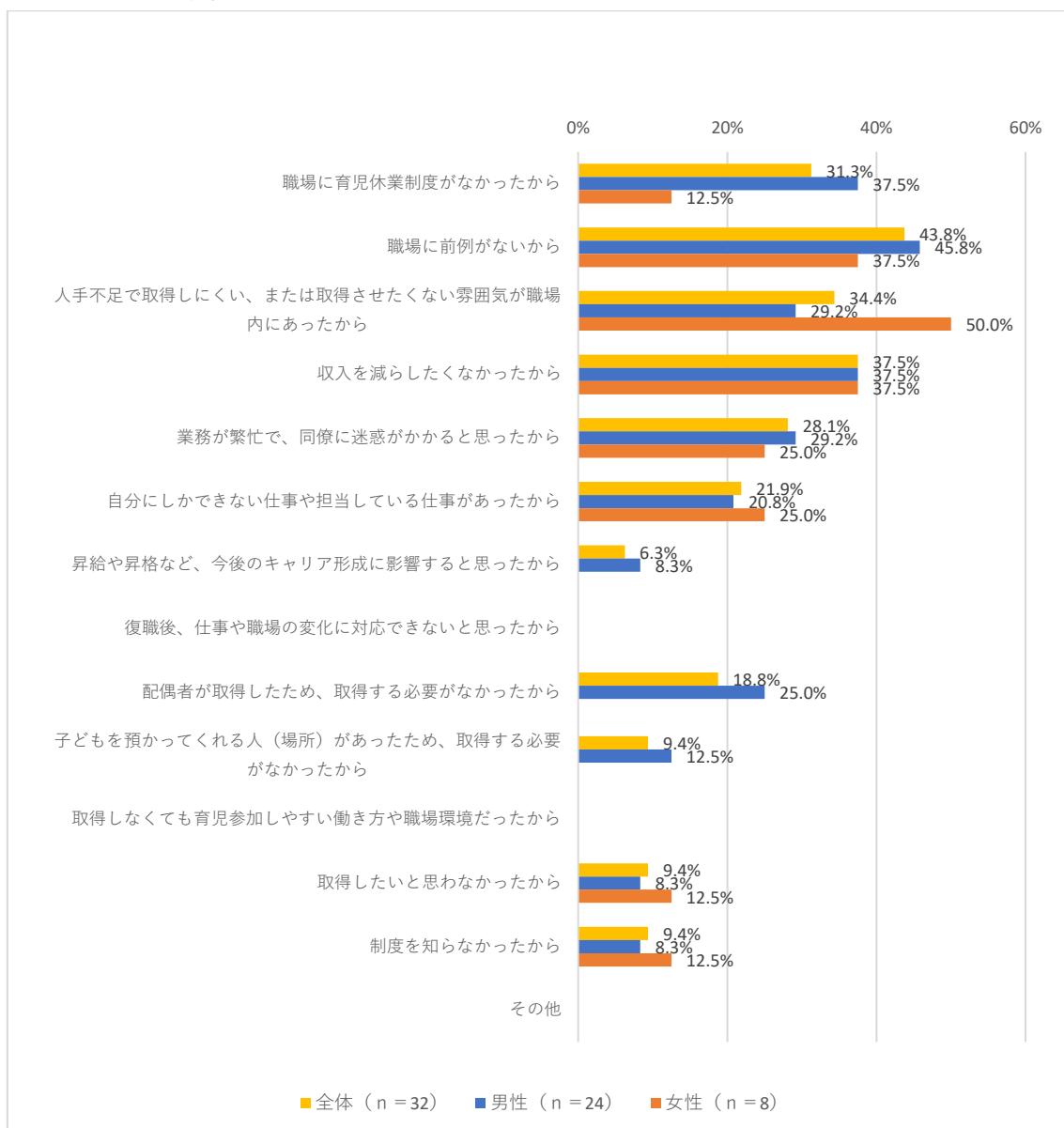
#### 問10 【令和2年4月1日以降、在職中に出産した女性、または配偶者が出産した男性へ】出産後、あなたは育児休業を取得しましたか。(○は1つ)

- 全体では、「取得しなかった」が53.2%で最も高く、次いで「取得した」が31.9%、「取得したかったができなかった」が14.9%の順となっています。
- 性別でみると、「取得した」の割合は女性が圧倒的に高く、男女間で54.2ポイントの差が生じています。一方で、「取得しなかった」の割合は男性の方が53.1ポイント高くなっています。



問11 【問10で「取得しなかった」または「取得したかったが、できなかった」と回答された方へ】取得しなかった(できなかった)理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 全体では、「職場に前例がないから」が43.8%で最も高く、次いで「収入を減らしたくなかったから」が37.5%、「人手不足で取得しにくい、または取得させたくない雰囲気が職場内にあったから」が34.4%の順となっています。
- 性別でみると、男性は「職場に前例がないから」が45.8%で最も高く、女性は「人手不足で取得しにくい、または取得させたくない雰囲気が職場内にあったから」が50.0%で最も高くなっています。



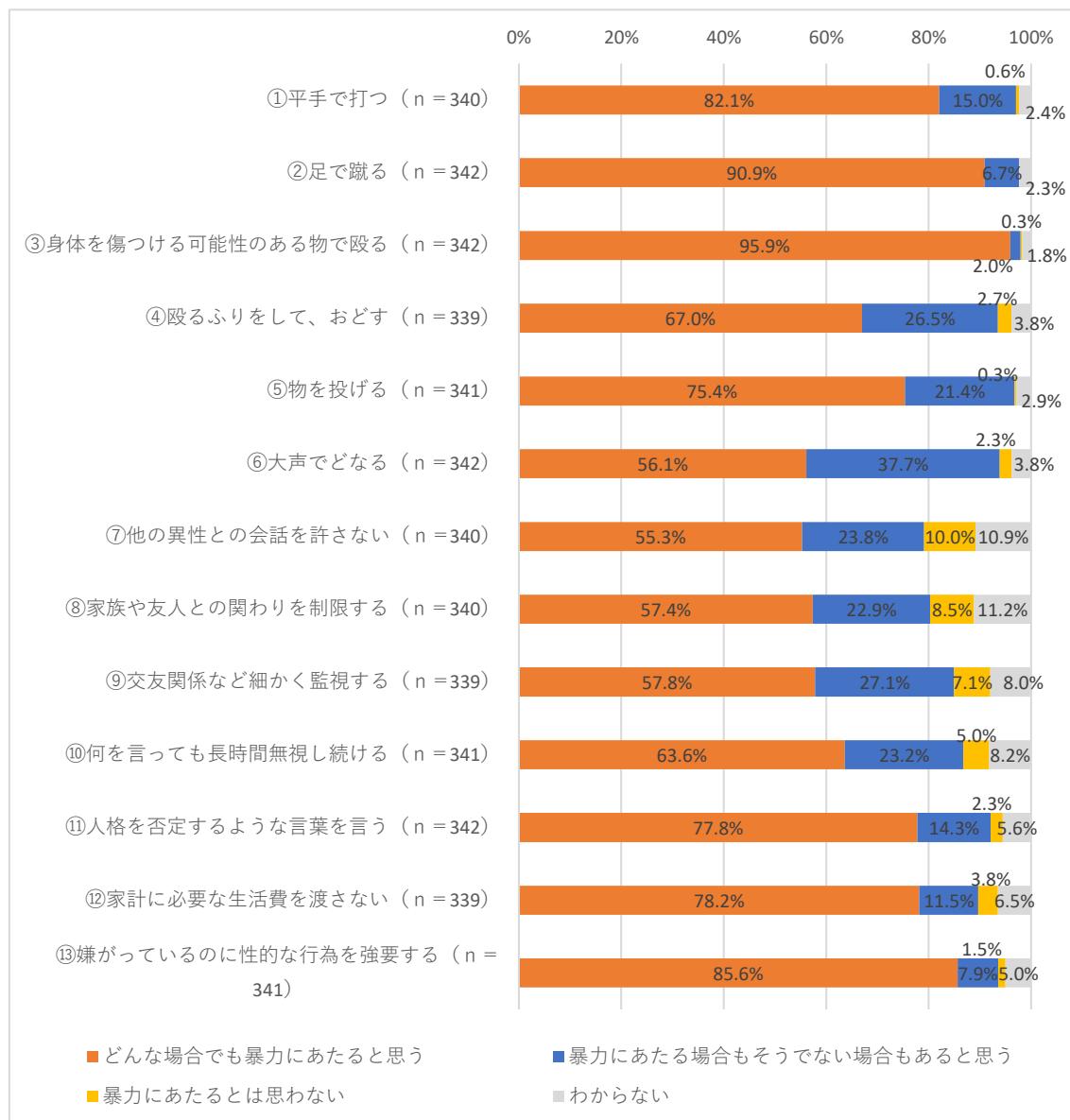
## 4 DV(ドメスティック・バイオレンス)やハラスメントについて

### 問12 あなたは、次のようなことがパートナーから行われた場合、暴力にあたると思いますか。(各項目ごとに○は1つ)

全ての項目で、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が5割を超えています。

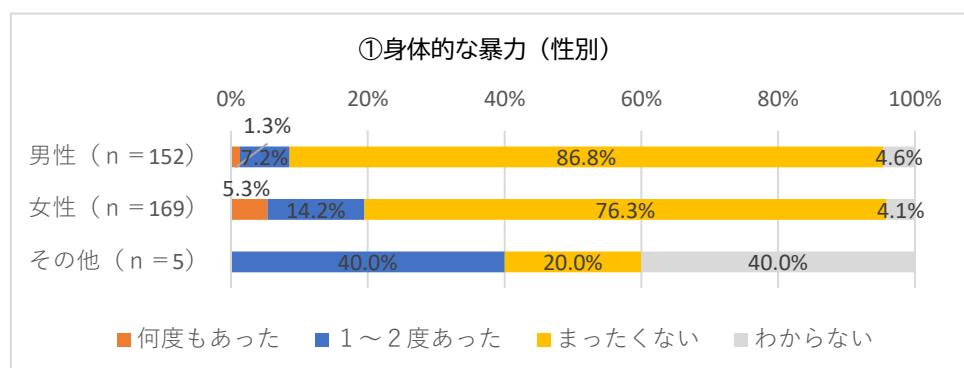
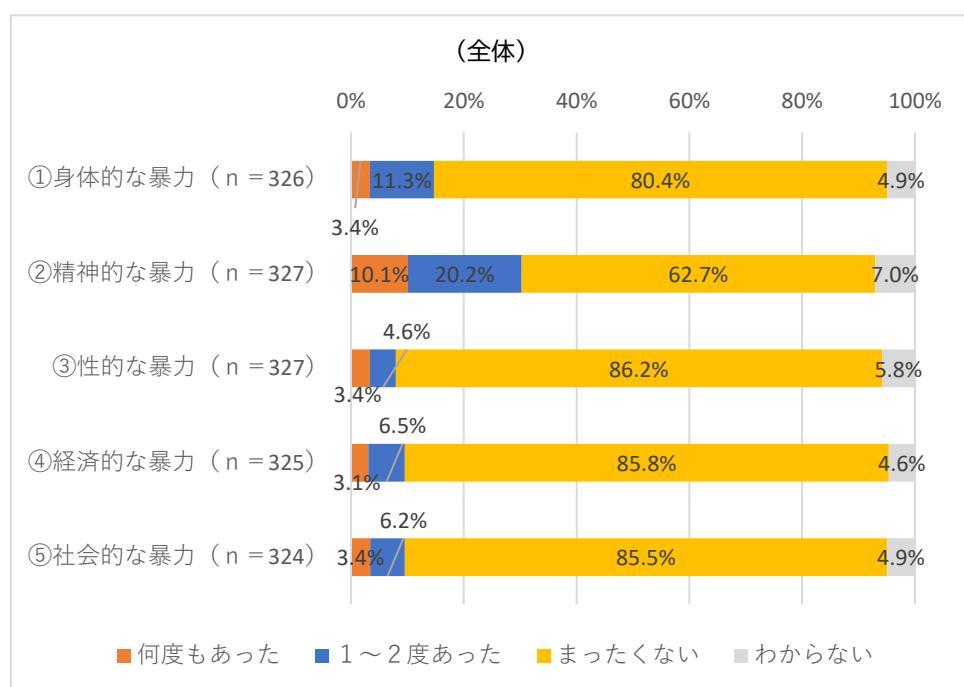
「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が最も高いのは、『身体を傷つける可能性のある物で殴る』で95.9%、次いで『足で蹴る』が90.9%、『嫌がっているのに性的な行為を強要する』が85.6%、『平手で打つ』が82.1%の順となっており、身体的な暴力や性的な暴力に関する項目が上位を占めています。

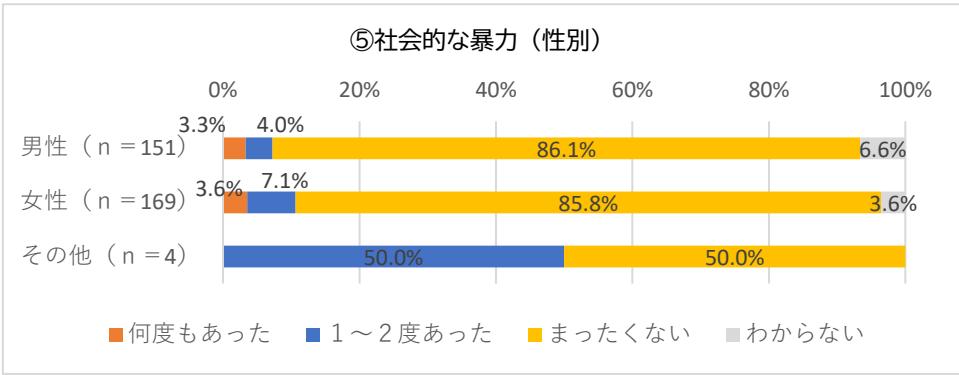
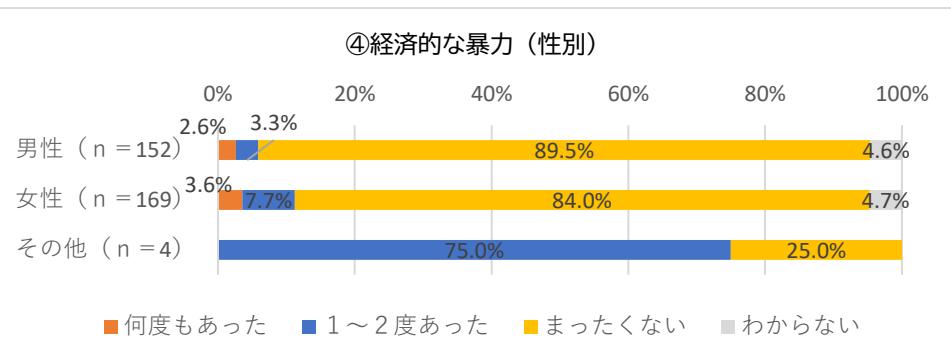
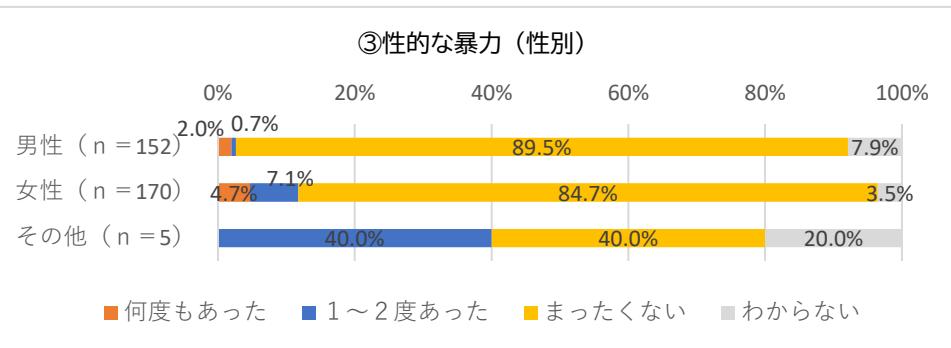
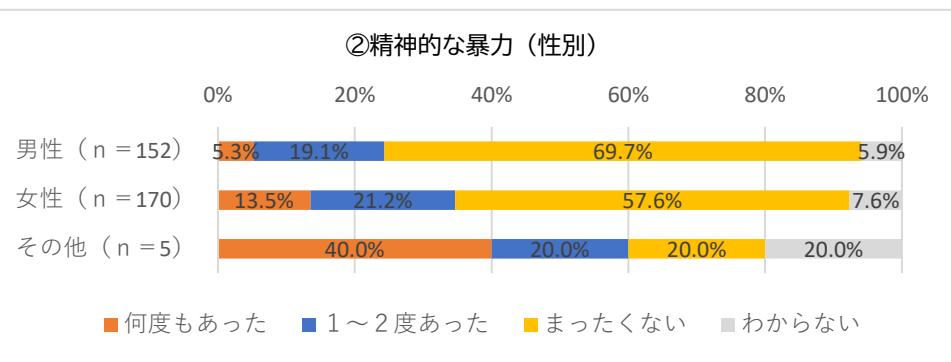
一方で、「暴力にあたるとは思わない」の割合は、最も高い『他の異性との会話を許さない』が10.0%、次いで『家族や友人との関わりを制限する』が8.5%、『交友関係など細かく監視する』が7.1%の順となっています。



問13 あなたはこれまでに、パートナーから次のようなことをされた経験がありますか。(各項目ごとに○は1つ)

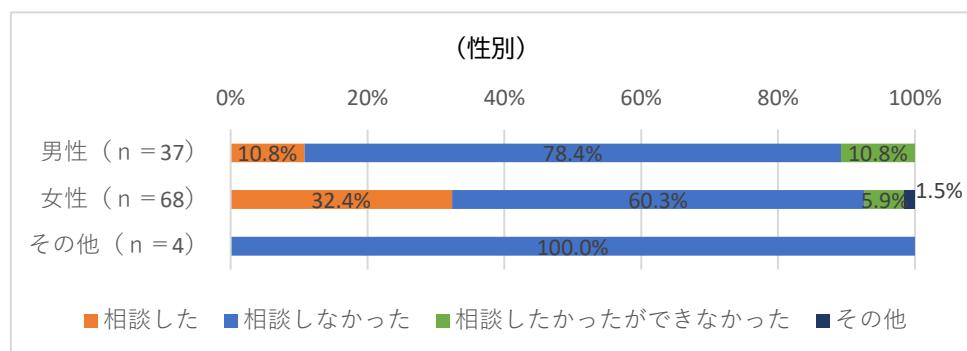
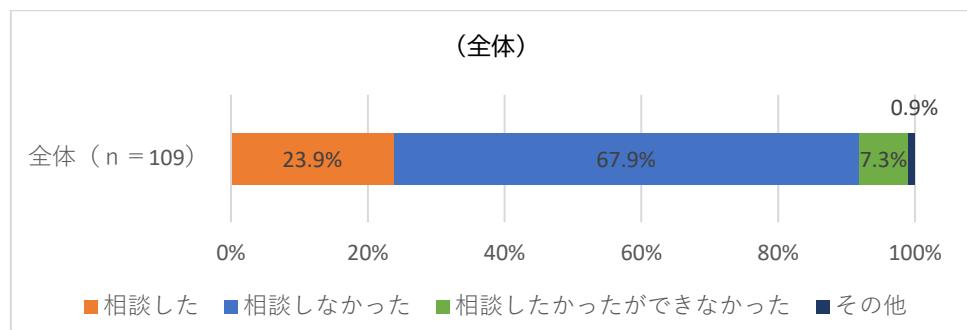
- 全体では、「何度もあった」「1~2度あった」を合わせた割合が最も高いのは『精神的な暴力』で30.3%、次いで『身体的な暴力』が14.7%、『経済的な暴力』と『社会的な暴力』がそれぞれ9.6%、『性的な暴力』が8.0%の順となっています。
- 性別でみると、「何度もあった」「1~2度あった」を合わせた割合が最も高いのは、男女ともに『精神的な暴力』で、男性で24.4%、女性で34.7%となっています。また、いずれの項目でも「何度もあった」「1~2度あった」を合わせた割合は男性よりも女性の方が高く、その差が最も大きいのは『身体的な暴力』で、女性の方が11.0ポイント高くなっています。





問14 【問13で1つでも「何度もあった」または「1~2度あった」と回答された方へ】そのことを誰か(どこか)に相談しましたか。(○は1つ)

- 全体では、「相談した」が23.9%、「相談しなかった」が67.9%で、「相談しなかった」割合が大きく上回っています。
- 性別でみると、「相談しなかった」割合は女性よりも男性の方が高く、「相談しなかった」「相談したかったができなかった」を合わせた割合は、男性で9割近くを占めています。

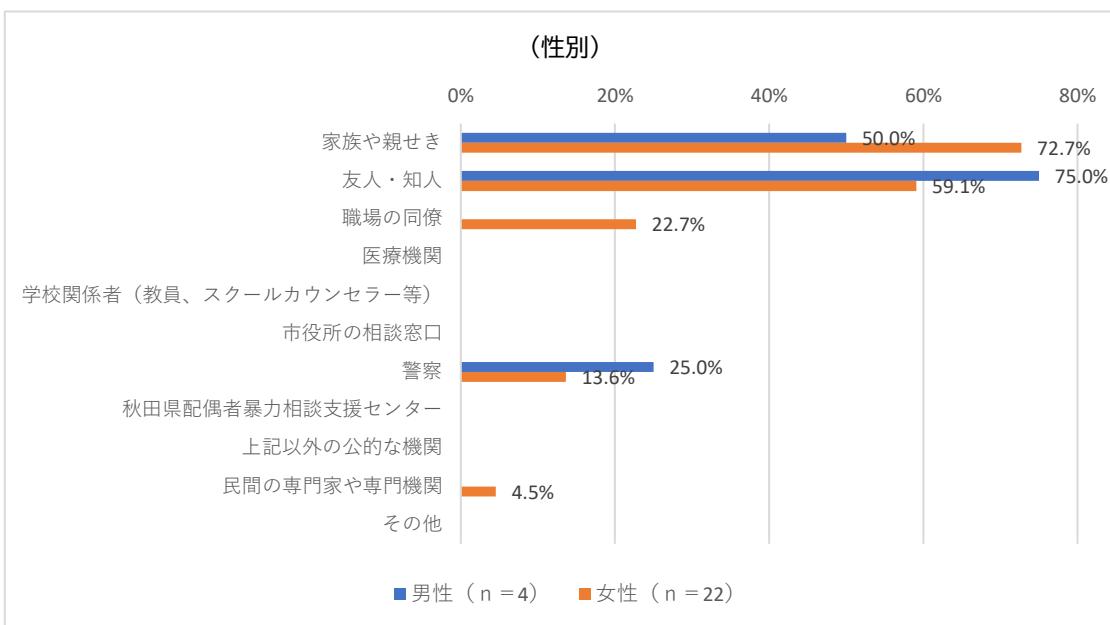
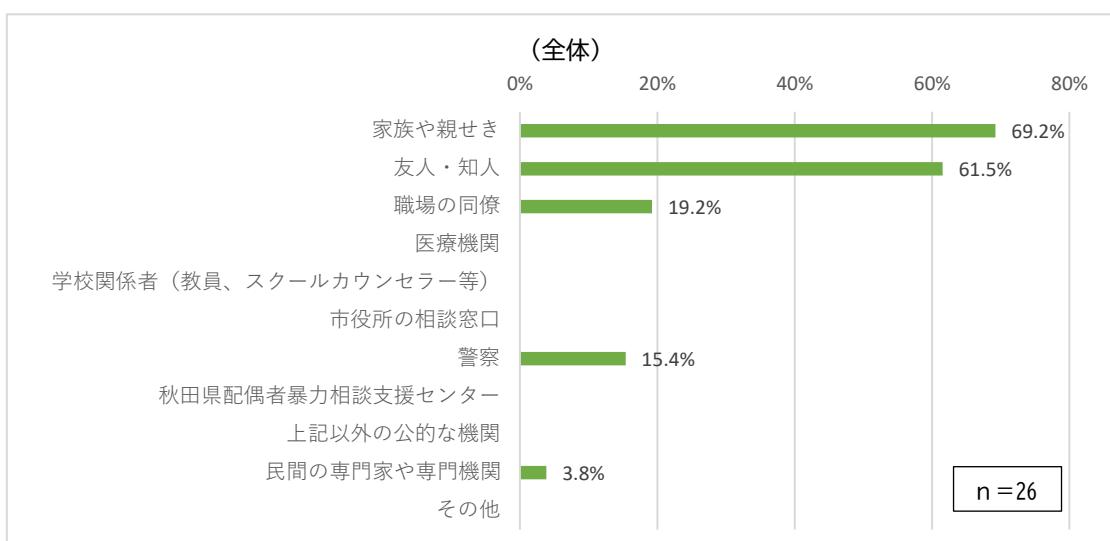


【その他意見】

・後になって「あの時は辛かった」と本人に話をした(女性、60代)

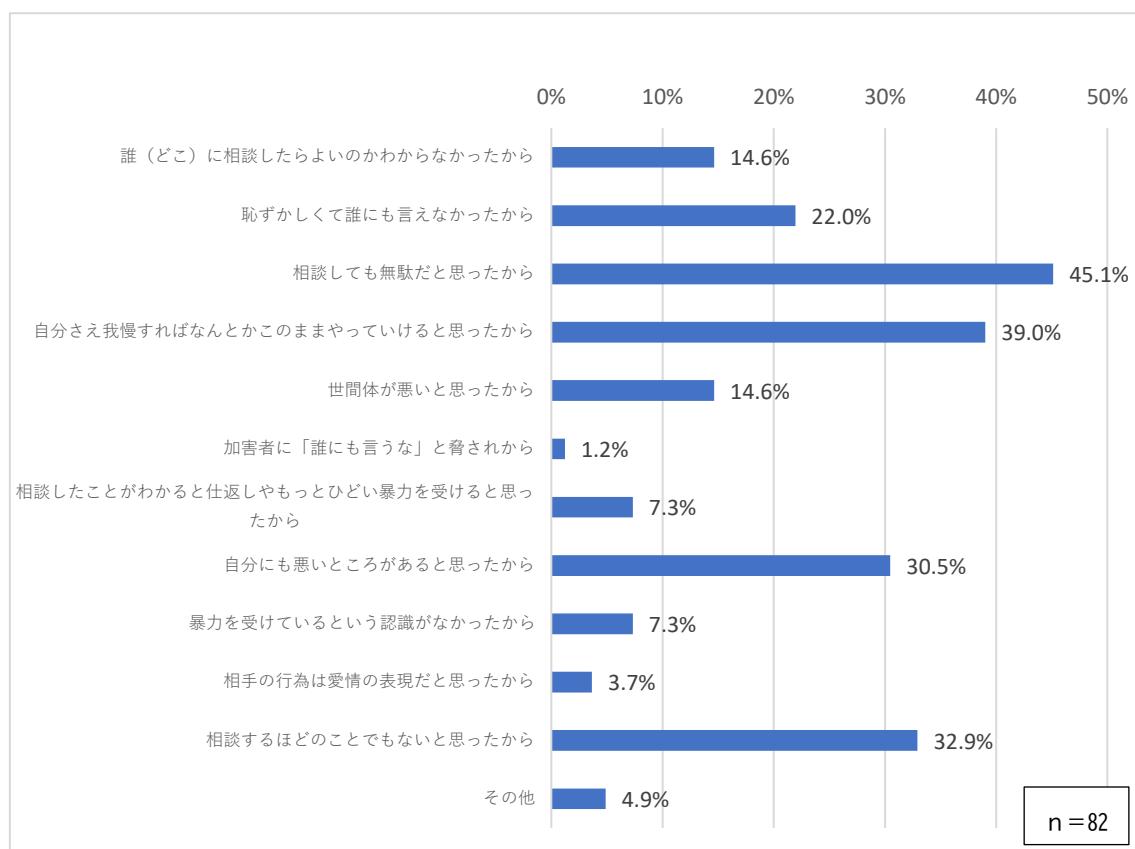
問15 【問14で「相談した」と回答された方へ】誰(どこ)に相談しましたか。  
(○はいくつでも)

- 全体では、「家族や親せき」が69.2%で最も高く、次いで「友人・知人」が61.5%、「職場の同僚」が19.2%、「警察」が15.4%の順となっています。
- 性別でみると、男性は「友人・知人」が75.0%で最も高く、次いで「家族や親せき」が50.0%、「警察」が25.0%の順となっています。一方で、女性は「家族や親せき」が72.7%で最も高く、次いで「友人・知人」が59.1%、「職場の同僚」が22.7%の順となっています。



## 問16 【問14で「相談しなかった」または「相談したかったができなかった」と回答された方へ】相談しなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

「相談しても無駄だと思ったから」が45.1%で最も高く、次いで「自分さえ我慢すればなんとかこのままやっていけると思ったから」が39.0%、「相談するほどのことでもないと思ったから」が32.9%、「自分にも悪いところがあると思ったから」が30.5%の順となっています。

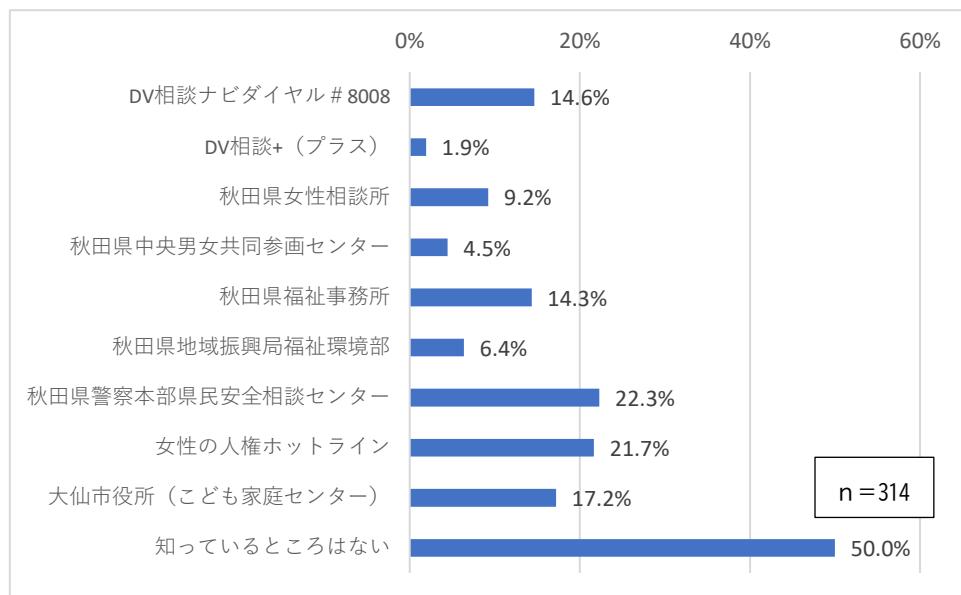


### 【その他意見】

- ・あまり気にならなかつた(男性、50代)
- ・子どものため(女性、40代)
- ・親に心配させたくないから(女性、40代)
- ・他者を信頼できない(男性、40代)

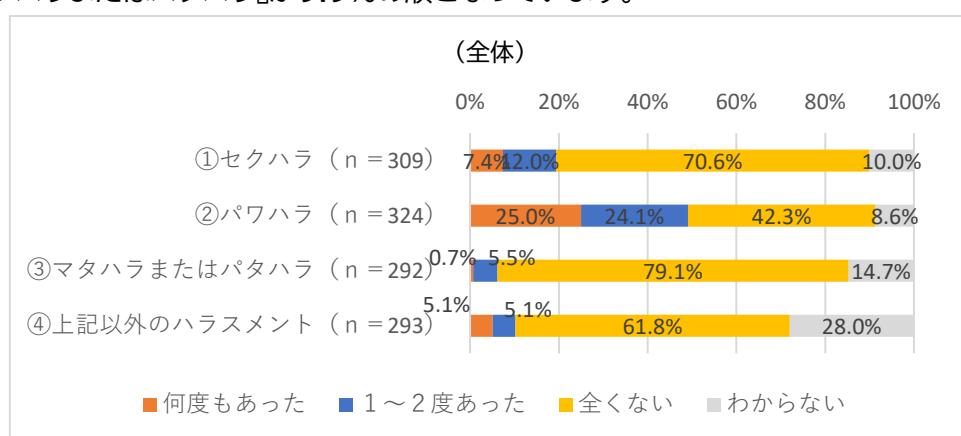
問17 あなたは、DV の相談先として、次の相談窓口があることを知っていますか。  
(○はいくつでも)

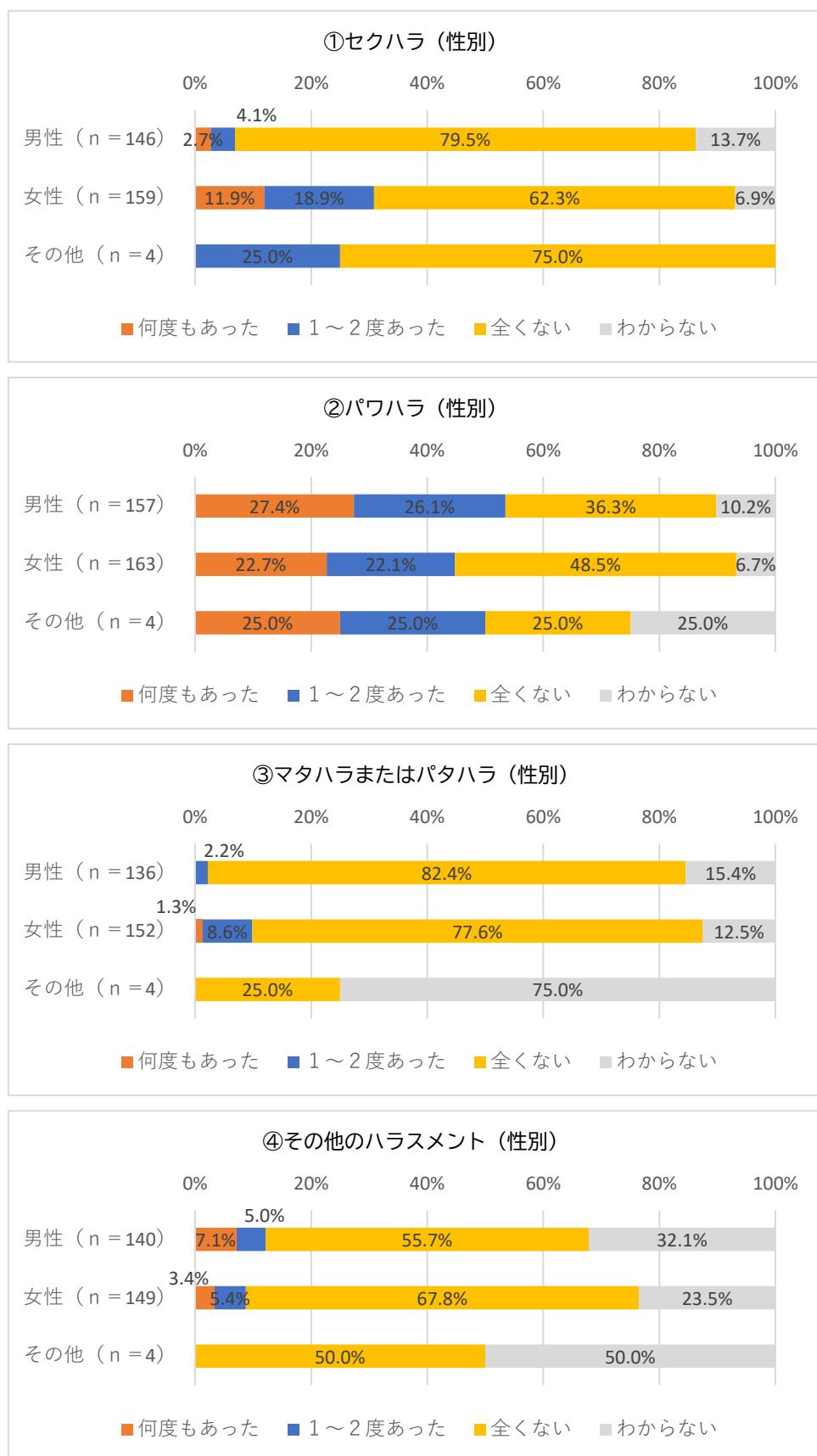
「知っているところはない」が50.0%で最も高く、次いで「秋田県警察本部県民安全相談センター」が22.3%、「女性の人権ホットライン」が21.7%の順となっています。



問18 あなたはこれまでに、何らかのハラスメントを受けたことがありますか。  
(各項目ごとに○は1つ)

- 全体では、「何度もあった」「1～2度あった」を合わせた割合が最も高いのは『パワハラ』で49.1%となっており、5割近くがパワハラの経験があると回答しています。
- 性別でみると、「何度もあった」「1～2度あった」を合わせた割合は、男性は『パワハラ』が最も高く53.5%、次いで『その他のハラスメント』が12.1%、『セクハラ』が6.8%の順となっています。一方で、女性は『パワハラ』が最も高く44.8%、次いで『セクハラ』が30.8%、『マタハラまたはパタハラ』が9.9%の順となっています。



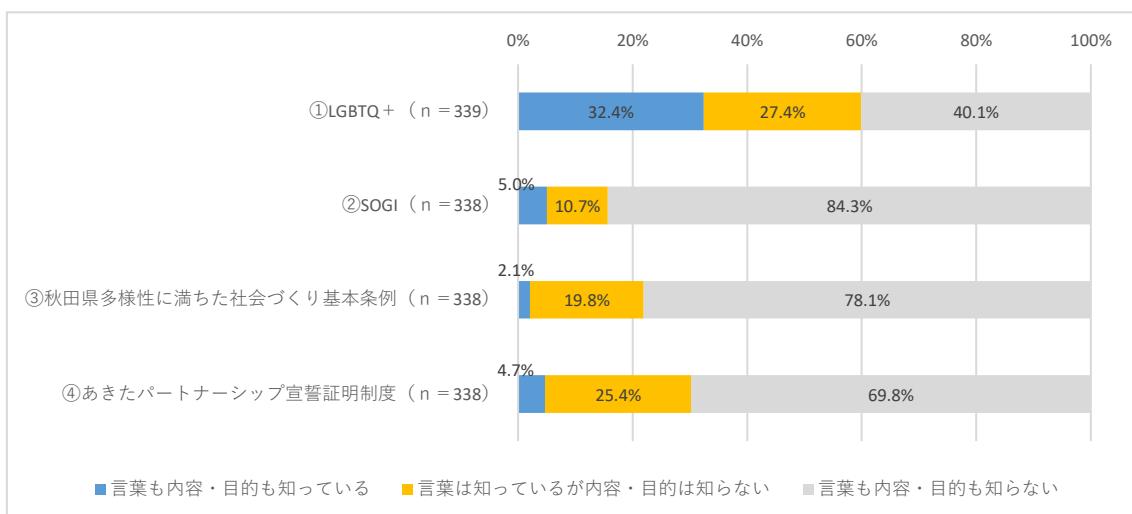


## 5 性の多様性について

問19 あなたは、次の言葉や内容(または目的)を知っていますか。  
(各項目ごとに○は1つ)

「言葉も内容・目的も知っている」「言葉は知っているが内容・目的は知らない」を合わせた割合が最も高いのは、『LGBTQ+（※1）』で59.8%となっており、次いで『あきたパートナーシップ宣誓証明制度』が30.1%、『秋田県多様性に満ちた社会づくり基本条例』が21.9%の順となっています。

最も認知度が低い『SOGI（※2）』は8割を超える方が「言葉も内容・目的も知らない」と回答しています。



※1 LGBTQ+(プラス)とは…

LGBTQ は、「L:レズビアン(女性同性愛者)」「G:ゲイ(男性同性愛者)」「B:バイセクシュアル(両性愛者)」「T:トランスジェンダー(出生時に診断された性と、自認する性の不一致)」「Q:クエスチョニング(自分の性が定まらないこと)」の頭文字をとった総称です。その他、LGBTQ にカテゴライズされない多様な性のあり方を示す表記として、「+(プラス)」が付けられています。

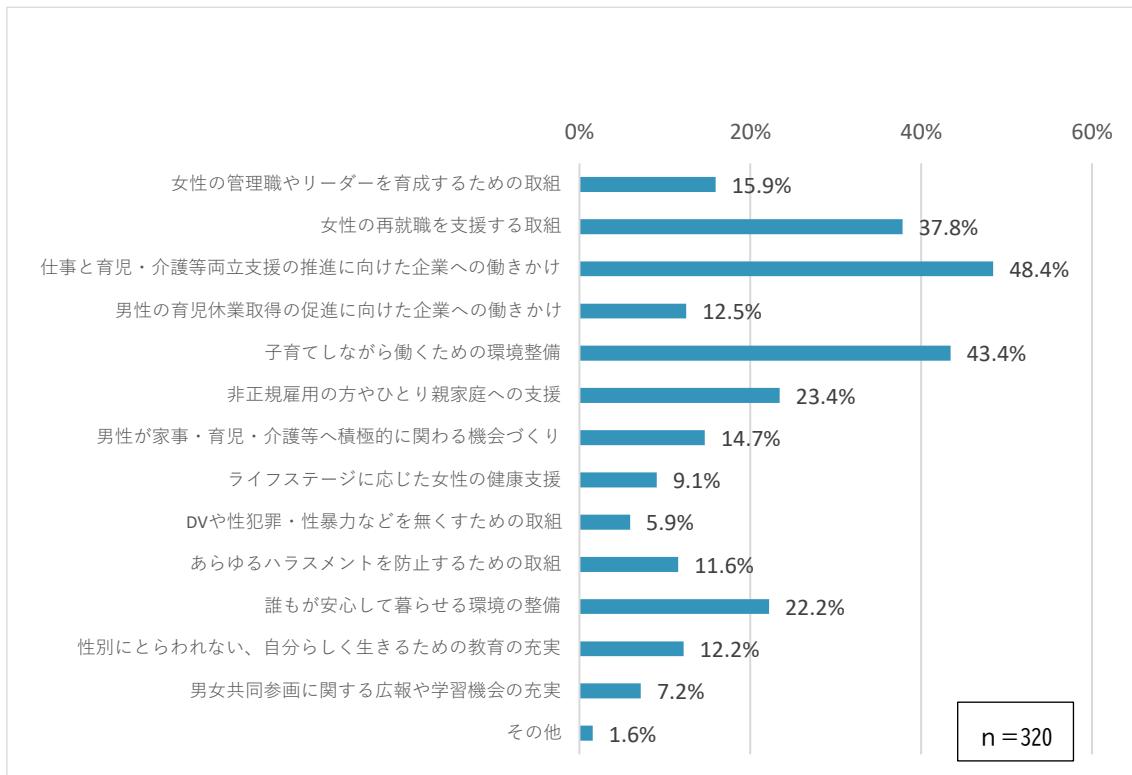
※2 SOGI(ソジ、ソギ)とは…

Sexual Orientation and Gender Identity の略で、「性的指向と性自認」と訳されます。

## 6 男女共同参画施策への要望等について

問20 あなたは、男女共同参画社会の実現のために、何が重要だと思いますか。  
(○は3つまで)

「多様で柔軟な働き方や、仕事と育児・介護等との両立支援の推進に向けた企業への働きかけ」が48.4%で最も高く、次いで「保育サービスの充実や小学生の放課後の居場所確保など、子育てしながら働くための環境整備」が43.4%、「出産や子育てで離職した女性の再就職を支援する取組」が37.8%の順となっています。



※選択肢は一部省略して表記しています。

## IV 自由意見

○私が就職した 50 年前は、今思うと、とても女性環境が整っておりました。信じられないかもしれません、女性部長、課長、係長と多くの役職の方々がおられました。また、その頃はめずらしかったかもしれません、共働きの方もおられ、出産近くまで働いている方もおりました(マタニティの制服も用意されておりました)。ハラスメントなんてとんでもない、10 年以上在席していましたが、どこも女性の意見を聞くちゃんとした職場でした。そんな会社が増える事、また男女ともに尊重できる、そんな社会になってほしいと思います。(女性／70代以上／大曲)

○私が働く職場は、男女比が 99:1 程度と非常に片寄った業種です。特に管理する側はここ 10 年で比率が少し上昇しているものの、技能者側は 20 数年ほとんどかわっていないのが現状です。これまでの男女共同参画に向けた働きかけが浸透しづらい職場なのかもしれません。少子高齢化、人口の減少が急速に進んでいることから、女性が働きやすく雇用者側も躊躇しなくても良い対策が整備されることを希望します。(男性／40代／大曲)

○世代差はあると思いますが、少しずつ浸透しているような気がします。時間がかかると思います。ひとりひとりが小さな事から。(女性／70代以上／南外)

○この先も、男女共同でやる事に、真の答えはないと思います。ずっと前から問題はあっても、“実行し行動に移す”はまったく進んでいません。やはり、子供を産んだ後のリスクを考えて不安だらけな場合、大金も動く事なので、前に進みにくい案件なのではないでしょうか。

(女性／50代／大曲)

○・女性の管理職やリーダーの性格、また人格など、充分な育成が必要だと思う。  
・書面だけは充分だけど、実際にはほど遠いと思う。(経験より)(女性／60代／中仙)

○ほとんどの場合、社会的立場や考え方、制度などが男性に優位に思う。そして、女性は「～してあたりまえ」と言われる事が多いように思う。性別については、その人らしくあればいいと思うので、項目を無くした方がいいのではと思う。(女性／30代／太田)

○男女共同参画について、どのような仕事をしているかはわかりません。だけどこのような職場があるとは知りませんでしたが、いろいろがんばってこのようなアンケートを取るという事は大切な事だと思います。私みたいなアンケートで何か役にたったら光栄です。がんばってください。応援しています。(女性／70代以上／南外)

○会社を辞めて 20 年近くになりますが、在職当時セクハラ・パワハラ等の相談室が設けられ心強か

った記憶があります。“聞いてもらえる環境”を作る職場・地域であれば安心して働けるのではないかと思う。(女性／60代／大曲)

○女性が働きやすい環境の整備・支援(女性／50代／南外)

○男女共同参画について、言葉ではこういうことだと教科書(社会)などで聞いたことはあったが、いざ改めて感想を述べるとするならば、地域などによる根強い風習などはインターネットの発達により少しうすれたように感じる。ただ、やはり上の世代では、その多種多様性を認めないという人は意外に多い。また、女性が優遇され始めたことにより、男性の存在意義がうすれてしまったように感じる。また、昨今のオリンピックや各種大会にて性別上は男でも女性の大会に出る人も多く見受けられるようになってきた。この世界がどのようにしていくのかは見当もつかないが、少なくとも大仙市さんには、男女どちらの人権も守られるような、住みやすい市であり続けてほしい。(男性／20代／大曲)

○現実化には、まだまだ程遠い現状にあると感じています。このアンケートが活かされ、何かの改革に役立つことを願います。お疲れ様です。(女性／50代／大曲)

○私には恋人、配偶者はいません。幼少期から目のあたりにしてきた長男信仰(または男性優遇)。家庭内での母に対する父のパワハラ、モラハラ、経済的暴力、子ども達(兄と私)にも同じようなことがありました。小学生、中学生、高校生と年を重ねても、家庭外の人達には機能不全家族が多かったです。そういう環境がおかしいと教えてくれたのは、県外で就職した先の人達や、精神科の医師、臨床心理士でした。現在、異次元の少子化と言われていますが、子どもどころか家庭を築く夢すらありません。今でも、スーパーや大型商業施設に行くと、おばあさんをこき使い、自分は何もしないおじいさんをよく見かけます。性別ではなく「人として」誰しもが生きやすい社会、地域になることを望みます。(女性／30代／大曲)

○男性が女性からパワハラを受けていたとしても、表面には出にくいのかと思っています。  
(男性／50代／西仙北)

○男女共同参画に関してだけではないのですが、年令が上がるにつれて身体的に支障がでてきて働きたくても十分に働けず自分に合った仕事もみつけられず生活が厳しいです。  
(女性／60代／神岡)

○ノーカー残業デーと言われている中で、休日出勤や日々の残業などまだ企業によっては改善されていない。改善してほしい。全企業改めて見直ししてほしい。(女性／40代／大曲)

○ただアンケートを取るだけに終わるのではなく、このアンケートがこれから男女共同参画施策に目に見えて反映されることを望みます。(不明／不明／不明)

○男性上司に子どものことで休みを取ろうとしても理解してもらえないことが多い。(男性／20代／大曲)

○男女差について、差別的な言動がよくないと意識できているのは若い人ほど多いと思う。少しずつ共同参画の成果は広がっていくと思うので、わかりにくい活動だけれどもぜひ行政には頑張ってもらいたい。(ポジティブアクションの説明を入れてほしかった)(女性／50代／大曲)

○年代やその人個人にもよるのだろうけど、簡単な表現をするとまだまだ男尊女卑の意識や文化が根強くあるように思います。古くから受け継がれて来ている慣習によって人の心は簡単には変わるものではないと思いますが、互いをリスペクトし誰もがイキイキと安心して暮らせる大仙市でありますよう頑張ってほしいと期待しています。住民である私達も頑張ります。

(女性／60代／西仙北)

○主婦業、子育てとお金がかかる現在、物価が高くなり、いくらでも学校でのかかるお金を減らしていただけたら。部費や給食費等を… お願いします。(女性／50代／大曲)

○子どもの日頃のお世話や病気になった時の看病などは、基本的に女性(母親)の負担が大きいと感じる。そのような理由で仕事の休みをもらいたいときも「すみません。申し訳ありません。」など悪いことをしたかのように謝らなければいけない傾向にある。もっと誰もが楽な気持ちで仕事と育児の両立ができたらと思う。(女性／30代／仙北)

○近頃の若い世代は、男性でも子育て、食事や洗濯、買い物など、私達の頃よりずっと協力的であると思います。そうでなければ結婚はうまくいかないと思います。男女共同云々を意識してのものではないと思いますが…

男女平等というよりは 1 人 1 人が人間として、子どもの時代からお互いを思いやる、ちがうこととも 1 人 1 人の特徴であり、いじめやパワハラ、モラハラにつながらないよう教育していってもらいたい。世間では、障がい者については行政のおかげであたり前になっているが、ジェンダーや性同一障害の人々にとっては、まだまだ受け入れ難いものになっていると思う。どうか、行政の力で絵に描いた餅にならないよう、根気よくどの世代にも働きかけていってほしいと思います。

(女性／60代／大曲)

○男女共同参画、男女平等を推し進めたいがために、能力が十分でない女性が重要な職に就いている。対外的なアピールかもしれないが、負担が増えるのは部下であると感じる。このことはも

ちろん男性にも言えることだが、アピールのための抜擢はなくした方がよい。市としてこの政策を前面に押し出しすぎることだけはやめてほしい。(男性／30代／大曲)

○私達の年令では、まだまだ女性が家庭内で弱い立場にあると思っている。でも今更、夫に家事をやってとも言えないし、少しストレスを感じていますが、今の若い人達は、夫を自由に使っているので時代の違いを感じます。今に男女が逆転する可能性も感じています。(女性／60代／大曲)

○よく内容がわからない人も多いと思いますので、講演会などを多くして、学習を深めることが必要だと思います。(女性／70代以上／大曲)

○私の出産・子育ての時代は、育児休業制度があったとしても出産休暇をとるのがやっとでした。アンケートの質問にもありましたか、取得させたくない雰囲気が職場内にあったと思います。いくら経済的に支援、働く環境を良くしても、会社の考え方方が変わらないと、子供を産もうとは思いません。結局、わが家は1人でした。(女性／60代／大曲)

○このアンケートをやってみて初めて聞いた制度が多かったので、もっとテレビ CM や SNS などのインターネットで情報発信していくべきだと思います。(女性／20代／大曲)

○互いに存在を認め合い理解することが必要であると思う。(男性／60代／大曲)

○他府県との給料差、県内での地域差など、生活のしづらさを感じる。(女性／40代／太田)

○まだ古い考えなので、他人に相談することは考えたくない!! (女性／70代以上／南外)

○性別に関わらず、誰もが安心して生活できる社会を実現してもらいたいです。  
(男性／30代／大曲)

○問5に「わからない」を入れた方がよかったです。(男性／60代／仙北)

○女性の体は男性と同じように出来ていないため(力がない、ホルモン等)、どうしても平等は無理ですが、上司から同じようなパフォーマンスを求められると本当に苦しいです。共働きも辛いが、それに耐えなければ生活出来ず、辛い世の中だと思います。(女性／30代／仙北)

○若い男女が少ない。結婚に進む環境が少なく、男性から女性に声をかけにくい世の中のような気がする。(女性／70代以上／中仙)

○男女平等は理想ですが、現実的ではないと思います。女性の働く環境を整えたところで、女性は「仕事と家事と育児をする（させる）」というベースがあるなら、身体的に負担でしかない。仕事の責任は年々重くなるのに（男女平等）、家事も育児も変わらない… 家庭内の問題とも思いますが、名もなき家事と育児に気付く男性は少ないと思います。手取り収入1人分で暮らせるのなら、私は仕事を辞めたいです。（女性／30代／大曲）

○最近、女性→男化、男性→女化してきてあべこべしている。もう少し他人、近所とかかわってほしい。協力してほしい。自分の大変さだけ訴え、自分の意見を主張する。人の意見、年上の話聞いてほしい。自分もいつか老人になるのだから、年いけばみんな恋しく淋しくなる。みんな弱くなるから、役所の人もやさしく対応して下さい。いくらがんばっても男女平等にはなれない。やまとナデシコなって下さい。（女性／60代／太田）

○何だかんだ言って、男性が優遇されている社会だと感じます。大仙市職員の皆様には、日頃より頑張っていただきありがたいのですが、もう少しこの活動が活発に楽しく推進していくことを願っています。（女性／50代／大曲）

○単に女性の管理職やリーダーのパーセンテージを増やすのではなく、女性の男性との違い（一部体力的なところ、生理、妊娠、出産等）を何らかの方法でフラットにした場合に、男女にかかわらず能力を比較して優れている人材を採用すればいい。ただ、（ ）のところは個人的にはカバーできないから、企業団体、地域で対応する。（男性／60代／西仙北）

○質問の内容をもっと考えた方が良い。男女共同参画を否定、悪用しているのは市役所と思われる。市役所が良い見手本を示すべきであると思う。経験が豊富で実力があり、適切な判断が出来る女性職員を積極的に適所に配置するべきである。現在は、幹部職員の思惑で実力のない者が不適切な場所についていると感じられる。（不明／不明／不明）

○若い人達だけでなく、高齢であっても働ける環境があっても良いと思う。（女性／60代／大曲）

○私は現在47歳女性だが、私が幼いころは母親が専業主婦の方が多かったと認識している。私の元旦那も周りの40代も、母親から身のまわりのことをやってもらっていた方が多く「女性は家事をする」という意識が高いように思う。私の姑もそのような意識を持っている方だった。時代背景も変わり、女性が仕事をするようになり、両親が共働きをするようになった母親から育てられた20代・30代の方はお互いに協力して家事・育児を行っている方が多いように感じる。時代は変わってきたんだなあとうれしく思っている。ただ、まだ秋田県は「男性は仕事、女性は家事・育児」という考えが根強いように思う。女性は結婚をすると、仕事、家事、育児…女性にかかる負担が必然的に多くなっているように感じる。その背景が結婚をしたくない、子どもを持ちたくない

い…という意識につながっていると思う。男性も女性も共にお互いに協力し、役割分担をするのが当たり前の意識を持つことが必要だと感じる。また、男性の育児休暇取得率、秋田県がトップというニュースを新聞で見た。喜ばしいニュースだが、育児休業をとった方の代替えの方がいない場合が多く、他の職員の仕事が増え大変な思いをしていると聞いている。育児休業を取得した方が休んだ後に周りの職員が困らないような対策が必要かと思う。(女性／40代／大曲)

○男性が家事・育児などに関わるのは、その人によるしむずかしいと思います。家事・育児に興味がないと出来ないと思います。中学校や小学校の送り迎えなどの時間もあり、フルタイムで働く事はとてもむずかしいです。男女共同参画社会は良いと思いますが、我が家はむずかしそうです。  
(女性／40代／仙北)

○・一般的に、男性が得意とする分野、女性が得意とする分野があると思うので、お互いが納得できる役割分担をすることで、満足できる生活(社会)ができると思う。  
・管理職への女性登用の割合を上げることが目標とされる場合があるが、本当にそれを女性が望んでいるのか少し疑問に思うことがある。男性であっても、女性の目線で物事を考えたり、女性の意見を業務等へ反映できれば問題ないと思う。(男性／50代／大曲)

○…私には少し難しすぎるアンケート調査でした。(女性／60代／中仙)

○もう1枚の冊子の説明読もうとしたが読みにくい。ある程度読んでみたが読む気すらおこらなかつた。わかりやすい説明文を。(男性／40代／大曲)

○秋田県の最低賃金の見直しをし、生活の安定性と男女の平等な生活を求める。  
(女性／50代／太田)

○・第1次第2次計画の成果と課題等、公表されてきたと思うが記憶がない。  
・無知識なのかもしれないが、条例等、専門用語の意味など自分の中で理解できていないところが多かった。  
・大仙市において高齢者の男女共同参画とは、自分にとって何かできるのだろうか。  
(女性／60代／神岡)

○20代～30代向けにもっと育児や介護制度の充実・支援等、発信と施策の充実をお願いします。高齢化が進み、高齢者の方々が恵まれていると思うような瞬間があります。しかし実際介護をするのは30代～40代ですし、出産・育児で悩むのは20代～30代で、男性か女性どちらかは働かないと金銭的に不安、そうなればやはり女性が休む、男性が働く、と必然的になってしまいます。貧困家庭ではないですが、生活面は常に不安です。貧困家庭、片親家庭はもっと不安でしょう

し、押しつぶされそうな日々なんだと思います。公共・福祉に頼ろうと思えるような市政を心から  
お願ひします。(女性／20代／大曲)

○男女共同参画というわりに、レディースデイがあつたり随分都合のいい考え方だなと思う。潜在  
意識を変えなければずっと男女共同参画は無理だと思う。(女性／30代／大曲)

○産後の父親指導をする機会を増やして欲しい。個人によると思うが、産後の体調の理解や子育て  
への意識が低いと感じた。(女性／30代／大曲)

○女性の管理職や採用を増やすために専用の枠を設けるのは意味がないどころか、害悪ですらあ  
ると感じる。仕事をする上で男女差は関係なく、能力に見合った仕事をするべき。  
(男性／30代／太田)

○女性の管理職を増やしてほしい。理由はどうであれ、現場での女性雇用もやってもらいたい。他  
の地域で雇用されてる事を説明しても、色々訳を話して逃れている。各企業の環境づくりに、補  
助金や税優遇してもらいたい。(男性／50代／大曲)

○結局男が仕事、女が家庭という概念が男女ともに少なからずある。意識していなくても、会話の  
中で感じことがある。子供の頃からの意識を変えないと変わらないように思う。親がそうして  
きたから、そういうものだと思っている人が多い。(女性／40代／仙北)

○男性が多い職場、女性が多い職場の割合が将来逆転することを願っている。  
(男性／30代／大曲)

○男女平等は無理だと思います。何故なら妊娠、出産は女性しか出来ないから。  
(男性／30代／中仙)

## 資料(調查票)

---

# 令和6年度大仙市男女共同参画に関するアンケート調査

## ご協力のお願い

市民の皆さんには、日ごろから市政に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、男女共同参画の推進に関する基本理念を定め、市民や事業者の皆様、行政それぞれの責務を明らかにする「大仙市男女共同参画推進条例」のもと、これまで3次にわたって「大仙市男女共同参画プラン」を策定し、「ともに輝く男女共同参画のまち」の実現に向けて取組を進めてまいりました。

このたび、第3次となるプランが今年度で終了することから、令和7年度に開始する次期プランを策定し、さらに男女共同参画を推進していくため、アンケート調査を実施することといたしました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

令和6年8月

大仙市長 老松 博行

### 《調査票のご記入にあたって》

- このアンケートは、市内にお住まいの18歳以上の方の中から無作為に1,000人を抽出させていただき、無記名形式で行います。
- このアンケートは、原則として封筒の宛名にあるご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方(ただし、18歳以上の方)がお答えいただいても結構です。また、設問が難しい、答えにくいと感じられた場合は、飛ばして次の質問にお進みください。
- 調査結果は、市ホームページにて公表いたします。ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。

### 《回答方法》

- 記入された調査票は、同封の返信用封筒に入れて、令和6年8月31日(土)までに郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。
- 本調査は、インターネット上のアンケートフォームからも回答することができます。裏面の「インターネットによる回答方法」をご覧ください。
- 回答は、調査票またはインターネットのいずれか一方でお願いいたします。
- インターネットで回答される場合は、調査票の返送は不要です。

## 《インターネットによる回答方法》

次の URL を直接ご入力いただくか、二次元バーコードを読み込んでいただき、アンケートフォームからご回答ください。(令和6年8月31日(土)まで)

(1)URL

[https://apply.e-tumo.jp/city-daisen-akita-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=7904](https://apply.e-tumo.jp/city-daisen-akita-u/offer/offerList_detail?tempSeq=7904)

(2)二次元バーコード



## 【この調査についてのお問い合わせ先】

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班  
電話:0187-63-1111(内線 278) FAX:0187-63-1119  
メール:[sougou@city.daisen.lg.jp](mailto:sougou@city.daisen.lg.jp)

# 「令和6年度大仙市男女共同参画に関するアンケート調査」調査票

■ はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

(それぞれの項目について、あてはまる番号に○をつけてください。)

① あなたの性別を教えてください。

1. 男性 2. 女性 3. 回答したくない

② あなたの年齢を教えてください。

1. 18歳～19歳 2. 20歳～29歳 3. 30歳～39歳 4. 40歳～49歳  
5. 50歳～59歳 6. 60歳～69歳 7. 70歳以上

③ あなたのお住まいの地域を教えてください。

1. 大曲地域 2. 神岡地域 3. 西仙北地域 4. 中仙地域  
5. 協和地域 6. 南外地域 7. 仙北地域 8. 太田地域

④ あなたの職業を教えてください。

1. 自営業(農林漁業・商工サービス業・自由業等)または、その家族従事者  
2. 会社役員・経営者 3. 正社員・正職員などの正規雇用者  
4. 公務員 5. パート・アルバイト、契約社員等の非正規雇用者  
6. 家事専業者 7. 学生(高校生含む)  
8. 無職 9. その他( )

⑤ あなたは現在、結婚していますか。

1. 結婚している ⇒⑥へ 2. 結婚していないがパートナーと暮らしている ⇒⑥へ  
3. 結婚していたが離別・死別した ⇒⑦へ 4. 結婚していない ⇒⑦へ

⑥ ⑤で「1. 結婚している」「2. 結婚していないがパートナーと暮らしている」と回答された方におたずねします。あなたは共働き(パート、アルバイトなどを含む)ですか。

1. 共働きである 2. 自分だけ働いている  
3. 配偶者・パートナーだけ働いている 4. どちらも働いていない

⑦ あなたのご家族の構成(世帯構成)について教えてください。

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. 単身世帯(単身赴任を含む) | 2. 一世代世帯(夫婦・カップル) |
| 3. 二世代世帯(親と子)    | 4. 三世代世帯(親・子・孫)   |
| 5. その他( )        |                   |

#### ■男女共同参画に関する意識について

問1 あなたは男女共同参画に関する次の言葉や内容(または目的)を知っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。(各項目ごとに○は1つ)

	知っている	言葉も内容(または目的)も	内容(または目的)は知らない	言葉も内容(または目的)も知らない
①男女共同参画社会	1	2	3	
②大仙市男女共同参画推進条例	1	2	3	
③女性活躍推進法	1	2	3	
④育児・介護休業法	1	2	3	
⑤ワーク・ライフ・バランス	1	2	3	
⑥えるぼし認定	1	2	3	
⑦くるみん認定	1	2	3	
⑧ポジティブ・アクション	1	2	3	
⑨固定的性別役割分担意識	1	2	3	
⑩アンコンシャス・バイアス	1	2	3	
⑪DV 防止法	1	2	3	
⑫デート DV	1	2	3	
⑬ジェンダー	1	2	3	

問2 あなたは次にあげる分野で男女は平等になっていると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(各項目ごとに○は1つ)

	非常性に優遇が	どちらかといえど男性の方が優遇	平等	どちらかといえど女性の方が優遇	非常性に優遇が	わからない
①家庭生活	1	2	3	4	5	6
②職場	1	2	3	4	5	6
③学校教育の場	1	2	3	4	5	6
④政治の場	1	2	3	4	5	6
⑤法律や制度上	1	2	3	4	5	6
⑥社会通念・慣習・しきたり	1	2	3	4	5	6
⑦自治会・PTAなどの地域活動	1	2	3	4	5	6

#### ■ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について

問3 「男性は仕事、女性は家庭」というような、性別によって役割を固定する考え方について、どう思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 賛成         | 2. どちらかといえば賛成 |
| 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対         |
| 5. わからない      |               |

問4 あなたの家庭では、家事や育児、介護等をどのように分担していますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- |                       |
|-----------------------|
| 1. 女性が行っている           |
| 2. 女性が主で男性は手伝う程度      |
| 3. 男性が主で女性は手伝う程度      |
| 4. 男性が行っている           |
| 5. 男女とも同じように行っている     |
| 6. どちらか手の空いている方が行っている |
| 7. その他( )             |

問5 ①「仕事」、②「家庭生活(家事・育児・介護等)」、③「地域活動・個人の生活(学習・趣味・ボランティア・自治会・付き合い等)」の優先度について、あなたの理想と現実(現状)に最も近いものはどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(各項目ごとに○は1つ)

※現在、職業に就いておられない方で、職業経験のある方は、勤務されていた時のお考えに近いものをお選びください。

※高校生・学生の方、またはこれまで職業経験のない方は、理想のみ回答してください。

	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「地域活動・個人の生活」を優先	「仕事」と「家庭生活」とともに優先	「仕事」と「地域活動・個人の生活」とともに優先	「家庭生活」と「地域活動・個人の生活」とともに優先	「仕事」と「家庭生活」と「地域活動・個人の生活」とともに優先
理想	1	2	3	4	5	6	7
現実	1	2	3	4	5	6	7

問6 働くすべての人が仕事と家庭を両立していくために、企業等にはどのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

1. 社長や役員などの経営トップの意識改革
2. 管理職の意識改革
3. 管理職以外の従業員の意識改革
4. 人事・労務担当の意識改革
5. 育児休業・介護休業制度等を取得しやすい環境づくり
6. 計画的な年次有給休暇取得の促進
7. 業務の見直しや長時間労働の削減
8. ノー残業デーの設定
9. 在宅勤務やフレックスタイム制度などの柔軟な勤務制度の導入
10. 共働き家庭における転勤制度の見直し(地域限定社員制度の導入促進など)
11. 男性の家事や育児等参加の促進
12. その他( )

## ■職場環境と女性の活躍推進について

問7 一般的に女性が職業を持つことについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 女性は職業を持たない方がよい
2. 結婚するまでは職業を持つ方がよい
3. 子どもができるまでは、職業を持つ方がよい
4. 子どもができたら職業を辞め、子どもが大きくなったら再び職業を持つ方がよい
5. 結婚や育児、介護等にかかわらず、ずっと職業を持ち続ける方がよい
6. わからない

問8 男性も育児・介護休業を取得することができますが、このことについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 男性も育児・介護休業を取得した方がよい
2. 男性は育児・介護休業を取得する必要はない
3. わからない

問9 現在、会社等に勤務されている方におたずねします。あなたの職場における男女共同参画や女性活躍に関する状況について教えてください。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 募集や採用の条件における男女差が少ない
2. 賃金や昇給における男女差が少ない
3. 能力評価や昇格における男女差が少ない
4. 管理職の登用における男女差が少ない
5. 業務内容や業務分担における男女差が少ない
6. 男女ともに育児や介護のための休暇を取得しやすい
7. 女性が働きやすい職場環境である
8. 男女共同参画や女性活躍に関する取組は進んでいない
9. その他( )

問10 令和2年4月1日以降、在職中に出産した女性、または配偶者が出産した男性におたずねします（現時点で離職されている方も含みます）。出産後、あなたは育児休業を取得しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

1. 取得した
2. 取得しなかった ⇒問11へ
3. 取得したかったが、できなかった ⇒問11へ

問11 問10で「取得しなかった」または「取得したかったが、できなかった」と回答された方におたずねします。取得しなかった（できなかった）理由は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 職場に育児休業制度がなかったから
2. 職場に前例がないから
3. 人手不足で取得しにくい、または取得させたくない雰囲気が職場内にあったから
4. 収入を減らしたくなかったから
5. 業務が繁忙で、同僚に迷惑がかかると思ったから
6. 自分にしかできない仕事や担当している仕事があったから
7. 昇給や昇格など、今後のキャリア形成に影響すると思ったから
8. 復職後、仕事や職場の変化に対応できないと思ったから
9. 配偶者が取得したため、取得する必要がなかったから
10. 子どもを預かってくれる人（場所）があったため、取得する必要がなかったから
11. 取得しなくても育児参加しやすい働き方や職場環境だったから
12. 取得したいと思わなかったから
13. 制度を知らなかったから
14. その他( )

■DV(ドメスティック・バイオレンス)やハラスメントについて

問12 あなたは、次のようなことが配偶者や恋人など親しい間柄にある人(以下、パートナーといいます)から行われた場合、暴力にあたると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(各項目ごとに○は1つ)

	暴ど 力ん にな あ場 た合 るで とも 思う	るそ 暴と う力 思で にう なあ いた 場も 合あ も	思暴 わ力 なに あた ると は	わ か ら な い
① 平手で打つ	1	2	3	4
② 足で蹴る	1	2	3	4
③ 身体を傷つける可能性のある物で殴る	1	2	3	4
④ 殴るふりをして、おどす	1	2	3	4
⑤ 物を投げる	1	2	3	4
⑥ 大声でどなる	1	2	3	4
⑦ 他の異性との会話を許さない	1	2	3	4
⑧ 家族や友人との関わりを制限する	1	2	3	4
⑨ 交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する	1	2	3	4
⑩ 何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3	4
⑪ 「誰のおかげで生活できているんだ」など人格を否定するような言葉を言う	1	2	3	4
⑫ 家計に必要な生活費を渡さない	1	2	3	4
⑬ 嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3	4

問13 あなたはこれまでに、パートナーから次のようなことをされた経験がありますか。あてはまる番号に○をつけてください。(各項目ごとに○は1つ)

	何度もあった	1~2度あった	まったくない	わからない
①身体的な暴力 (例)殴られる、蹴られる、物を投げつけられる、突き飛ばされる、首をしめられる、刃物などでおどされるなど	1	2	3	4
②精神的な暴力 (例)大声でどなられる、人格を否定するような暴言を吐かれる、長時間無視される、脅迫される など	1	2	3	4
③性的な暴力 (例)嫌がっているのに性的な行為を強要される、見たくないポルノ映像等を見せられる、避妊に協力してくれない など	1	2	3	4
④経済的な暴力 (例)生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害される、相談なく借金を重ねる など	1	2	3	4
⑤社会的な暴力 (例)外出を制限される、親族や友人との付き合いを制限される、電話やメール等を細かく監視される など	1	2	3	4

問14 問13で1つでも「何度もあった」または「1~2度あった」と回答された方におたずねします。そのことを誰か(どこか)に相談しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 相談した ⇒問15へ
2. 相談しなかった ⇒問16へ
3. 相談したかったができなかつた ⇒問16へ
4. その他( )

問15 問14で「相談した」と回答された方におたずねします。誰(どこ)に相談しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1. 家族や親せき
- 2. 友人・知人
- 3. 職場の同僚
- 4. 医療機関
- 5. 学校関係者(教員、スクールカウンセラー等)
- 6. 市役所の相談窓口
- 7. 警察
- 8. 秋田県配偶者暴力相談支援センター
- 9. 6~8以外の公的な機関( )
- 10. 民間の専門家や専門機関(弁護士・カウンセリング機関・民間シェルターなど)
- 11. その他( )

問16 問14で「相談しなかった」または「相談したかったができなかった」と回答された方におたずねします。相談しなかった(できなかった)理由は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1. 誰(どこ)に相談したらよいのかわからなかつたから
- 2. 恥ずかしくて誰にも言えなかつたから
- 3. 相談しても無駄だと思ったから
- 4. 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
- 5. 世間体が悪いと思ったから
- 6. 加害者に「誰にも言うな」と脅されたから
- 7. 相談したことがわかると、仕返しされたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
- 8. 自分にも悪いところがあると思ったから
- 9. 暴力を受けているという認識がなかつたから
- 10. 相手の行為は愛情の表現だと思ったから
- 11. 相談するほどのことでもないと思ったから
- 12. その他( )

問17 あなたは、DVの相談先として、次の相談窓口があることを知っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。(〇はいくつでも)

1. DV相談ナビダイヤル#8008(はれれば)
2. DV相談+(プラス)
3. 秋田県女性相談所(秋田県配偶者暴力相談支援センター)
4. 秋田県中央男女共同参画センター(ハーモニー相談室)
5. 秋田県福祉事務所
6. 秋田県地域振興局福祉環境部
7. 秋田県警察本部県民安全相談センター
8. 女性の人権ホットライン(秋田地方法務局)
9. 大仙市役所(こども未来部こども家庭センター)
10. 知っているところはない

問18 あなたはこれまでに、何らかのハラスメント(嫌がらせ)を受けたことがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。(各項目ごとに〇は1つ)

	何度もあった	1~2度あった	まったくない	わからない
① セクシュアルハラスメント(セクハラ)	1	2	3	4
② パワーハラスメント(パワハラ)	1	2	3	4
③ マタニティハラスメント(マタハラ) またはパタニティハラスメント(パタハラ)	1	2	3	4
④ 上記以外のハラスメント	1	2	3	4

- セクハラ…相手の意に反した性的な言動によって、相手を不快にさせること。また、働く上で不利益を与えたり、性的な言動によって職場環境を悪化させる行為のこと。
- パワハラ…職務上の地位や人間関係などの優位性を背景として、業務の適正な範囲を超えて精神的・身体的苦痛を与えることや、職場環境を悪化させる行為のこと。
- マタハラ…働く女性が妊娠・出産・育児をきっかけに職場で精神的・肉体的な嫌がらせを受けたり、妊娠・出産・育児などを理由とした解雇や雇い止め、自主退職の強要で不利益を与えるなど不適な取り扱いのこと。
- パタハラ…マタハラに対し、男性が育児をする権利や機会を職場の上司や同僚が侵害する言動のこと。男性社員が育児休業を取得したり、育児目的の短時間勤務やフレックス勤務を活用したりすることへの妨害行為を指す。

## ■性の多様性について

問19 あなたは、次の言葉や内容(または目的)を知っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。(各項目ごとに○は1つ)

	言葉も内容(または目的)も 知らない	言葉は知っているが 内容(または目的)は知らない	言葉も内容(または目的)も 知っている
1. LGBTQ+	1	2	3
2. SOGI	1	2	3
3. 秋田県多様性に満ちた社会づくり基本条例	1	2	3
4. あきたパートナーシップ宣誓証明制度	1	2	3

## ■男女共同参画施策への要望等について

問20 あなたは、男女共同参画社会の実現のために、何が重要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 企業や団体における女性の管理職やリーダーを育成するための取組
2. 出産や子育てで離職した女性の再就職を支援する取組
3. 多様で柔軟な働き方や、仕事と育児・介護等との両立支援の推進に向けた企業への働きかけ
4. 男性の育児休業取得の促進に向けた企業への働きかけ
5. 保育サービスの充実や小学生の放課後の居場所確保など、子育てしながら働くための環境整備
6. 非正規雇用の方やひとり親家庭への支援
7. 男性が家事・育児・介護等へ積極的に関わる機会づくり
8. 妊娠・出産期、更年期など、ライフステージに応じた女性の健康支援
9. 配偶者やパートナー間の暴力(DV)や性犯罪・性暴力などを無くすための取組
10. あらゆるハラスメントを防止するための取組
11. 高齢者、障がい者、性的少数者、外国人など、誰もが安心して暮らせる環境の整備
12. 性別にとらわれない、自分らしく生きるための教育の充実
13. 男女共同参画やジェンダー平等についての理解を深めるための広報や学習機会の充実
14. その他( )

## ■おわりに

男女共同参画に関して、あなたが日頃感じていることや、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

これで調査は終了です。お忙しいところご協力をいただき、誠にありがとうございました。